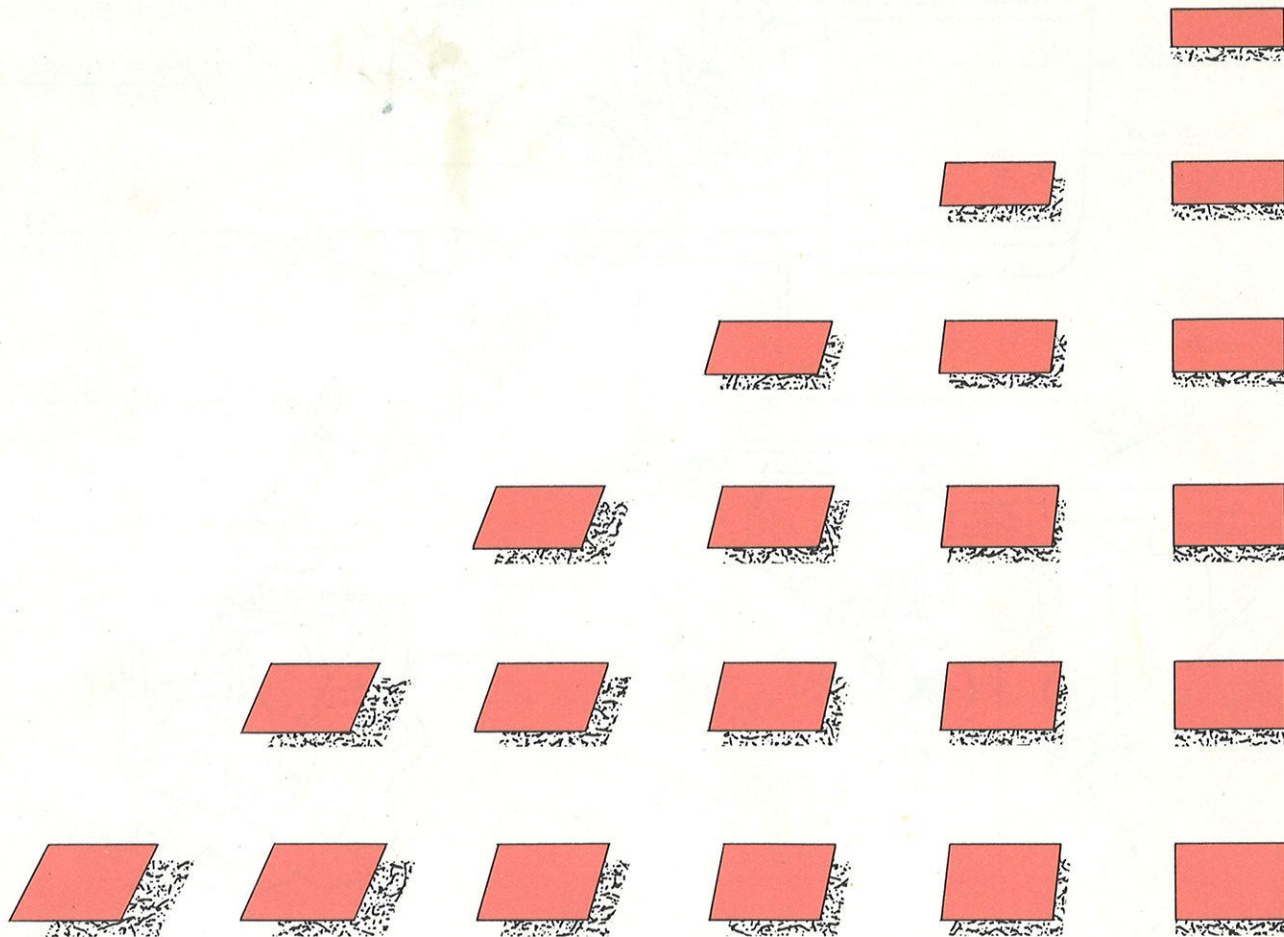


ベビーロック

BL4-838DF型

PRO LINE

ご使用のてびき



各部の名称

右針糸調子器

左針糸調子器

押え上げレバー(本体後側)

糸切り

照明ライト

上メスロックネジ

上メス

針板

押え金

下側面カバー

あこ〜でおんレバー

針糸通しつまみ

下ルーパー糸調子器

はずみ車

送り目ファインダー

上ルーパー糸調子器

メスカバー

交換ルーパー

上ルーパー

下ルーパー

下ルーパー糸かけ

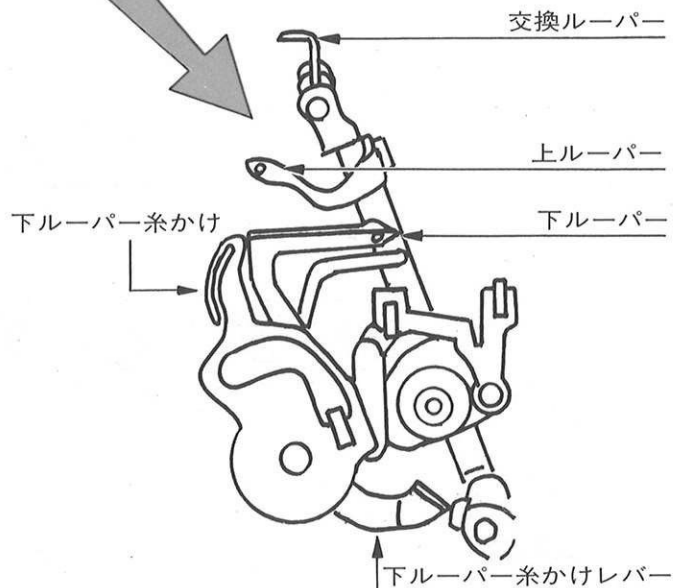
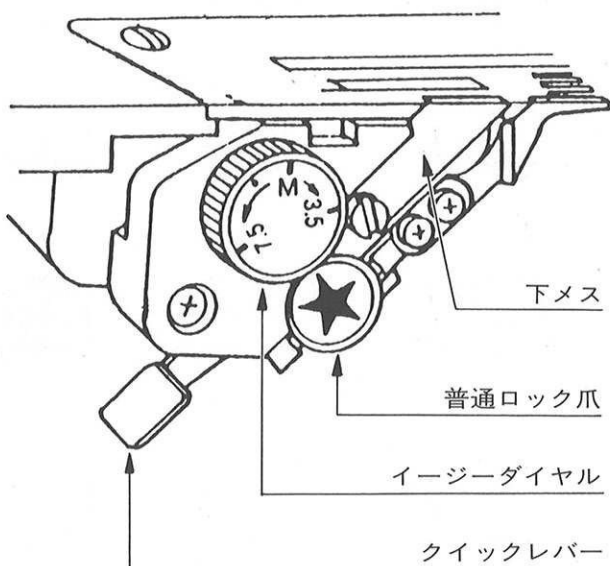
下ルーパー糸かけレバー

下メス

普通ロック爪

イージーダイヤル

クイックレバー



はじめに

このたびはベビーロックをお買上げいただきまして、ありがとうございます。
このミシンの正しい使い方をご理解いただくために、このてびきを最後までよく
お読みになり、保証書とともに必ず保存してください。

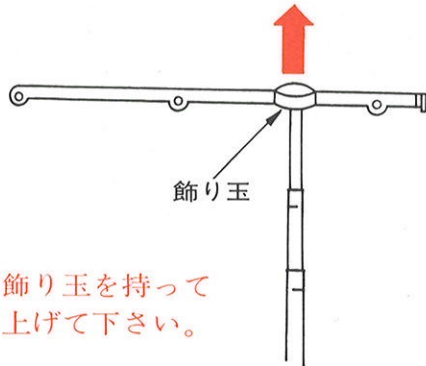
目 次

① 縫うための準備	1
1-1. 糸立棒のセット	1
1-2. メスカバーと下側面カバーの開き方	1
1-3. 上メスの解除	1
1-4. コントローラーのセットと照明ライトスイッチ	2
1-5. 使用糸	2
1-6. 糸の簡単な交換	3
② 縫い始めと縫い終り	4
切り代シールの使い方	4
③ 糸のかけ方	5
糸かけ全体図	5
3-1. 2本針4本糸オーバーロック縫いの糸かけ	6
1) 上ルーパー糸かけ	6
2) 下ルーパー糸かけ	7
下ルーパー糸かけフックの使い方	8
3) 右針糸かけ	9
針糸通し装置(右針に対して)の使い方	10
4) 左針糸かけ	11
針糸通し装置(左針に対して)の使い方	12
5) 2本針4本糸オーバーロック縫いの糸調子のとり方	13
3-2. 1本針3本糸オーバーロック縫い(左針使用)の糸かけ	14
3-3. 1本針3本糸オーバーロック縫い(右針使用)の糸かけ	15
1本針3本糸オーバーロック縫いの糸調子のとり方	16
3-4. 1本針2本糸縁かがり縫いの糸かけ	17
1本針2本糸縁かがり縫いの糸調子のとり方	18
④ 送り目の調節	19
⑤ 押え圧力の調節	19
⑥ かがり幅の変更	20
⑦ 巻きロックのやり方	21
巻きロックの糸調子のとり方	22
⑧ あこ〜でおんレバーの操作	23
⑨ バルキー押え金を使用する場合	24
⑩ 針の交換	25
⑪ 下メスの交換	25
⑫ 照明ライトの交換	25
布地・糸に対する糸調子器の目安位置	26
⑬ 梱包明細	27
⑭ 仕様	27

① 縫うための準備

1-1. 糸立棒のセット

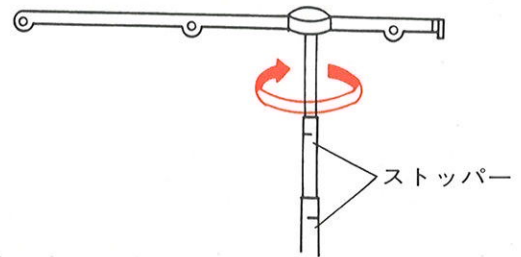
① 糸立棒をいっぱい伸ばします。



⑨

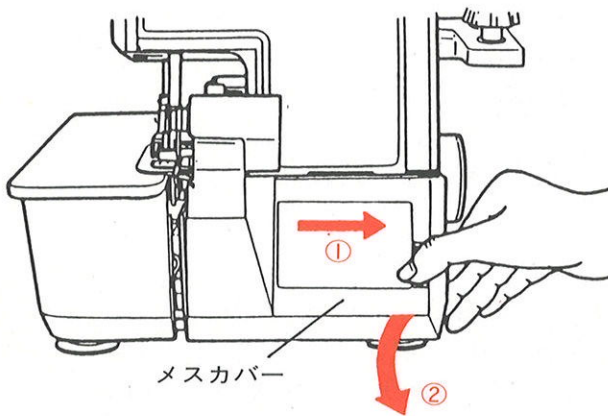
かならず飾り玉を持って
引っ張り上げて下さい。

② 糸立棒を回転させてストッパーで
固定します。

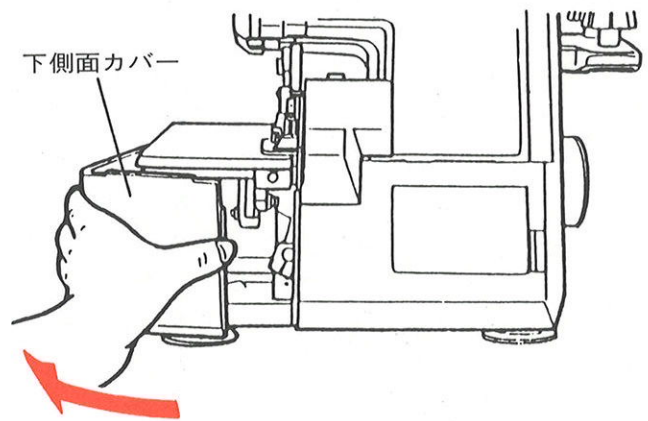


1-2. メスカバーと下側面カバーの開き方

メスカバーは、①右方向へいっぱい
引いてから②手前に倒します。



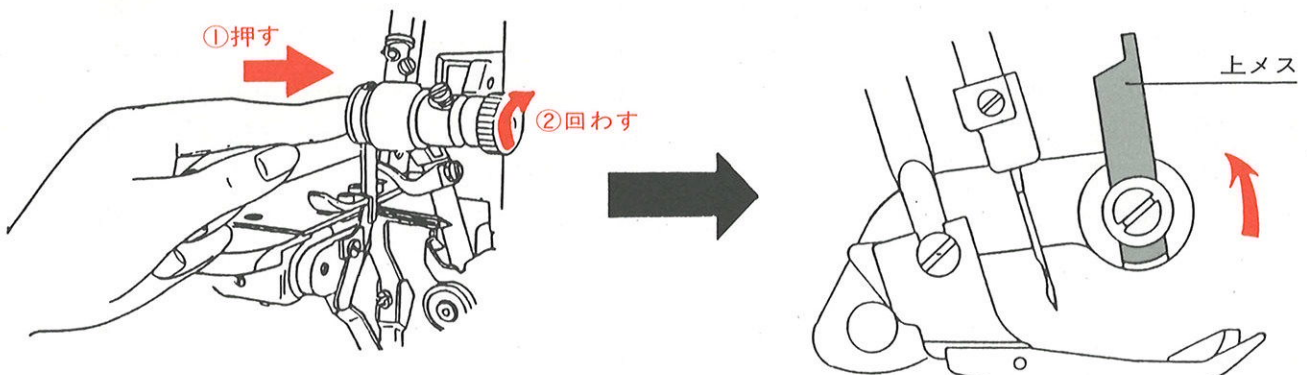
下側面カバーは左方向に開きます。



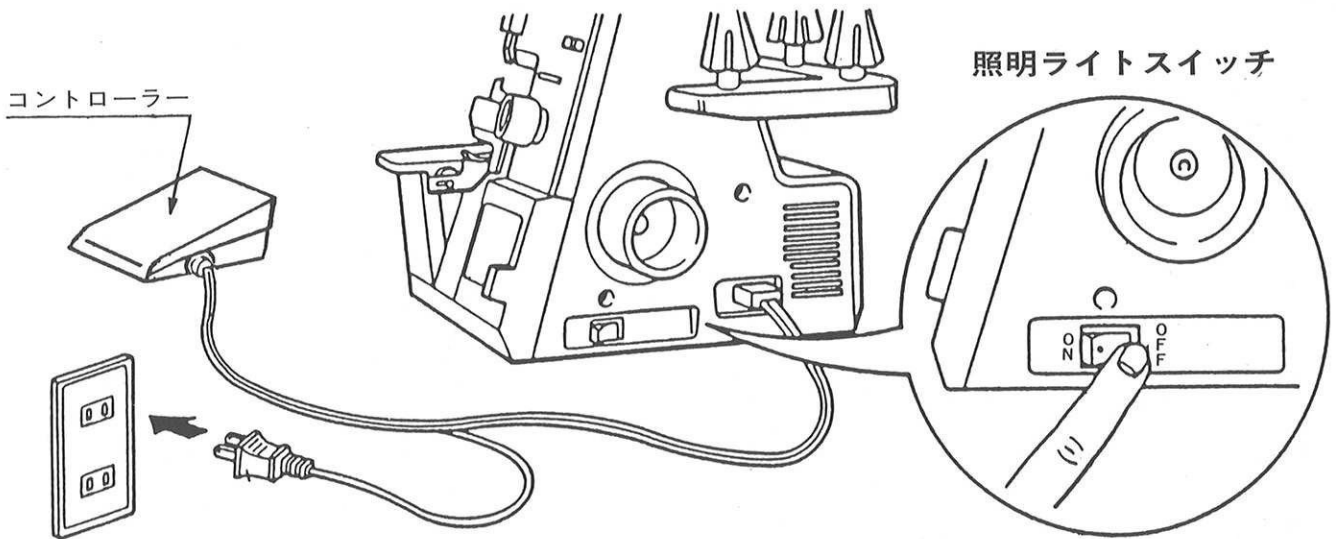
1-3. 上メスの解除

糸かけやメスを交換する際は、上メスを解除しておく大変便利です。
上メスの解除は下図に従って下さい。

⑨ 上メスを解除した場合は、元の位置に戻す事もお忘れなく。



1-4. コントローラーのセットと照明ライトスイッチ



コントローラーを弱く(浅く)踏むと速度は遅く、強く(深く)踏むと速度は速くなります。

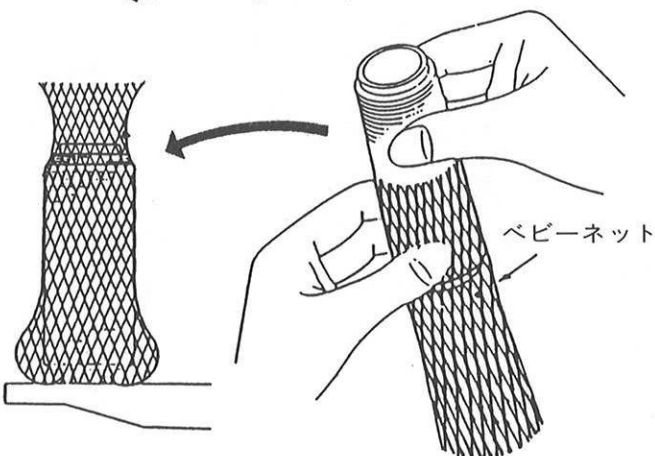
- ⑩ ミシン使用後は必ずコントローラーの電源プラグをコンセントより抜いて下さい。
また、コントローラーの上に物をのせないで下さい。

1-5. 使用糸

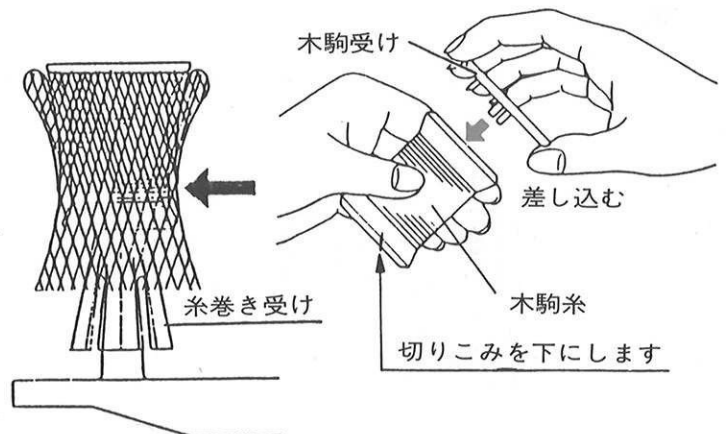
このミシンには普通チーズ巻き(又コーン巻き)の糸を使いますが、木駒糸もお使いになれます。この場合、次のように付属の木駒受けを木駒の穴に差し込んで、糸巻き受けの上ののるようにセットして下さい。

また、化繊糸などのほつれやすい糸は、付属のベビーネットをご使用下さい。

〔チーズ巻き糸〕



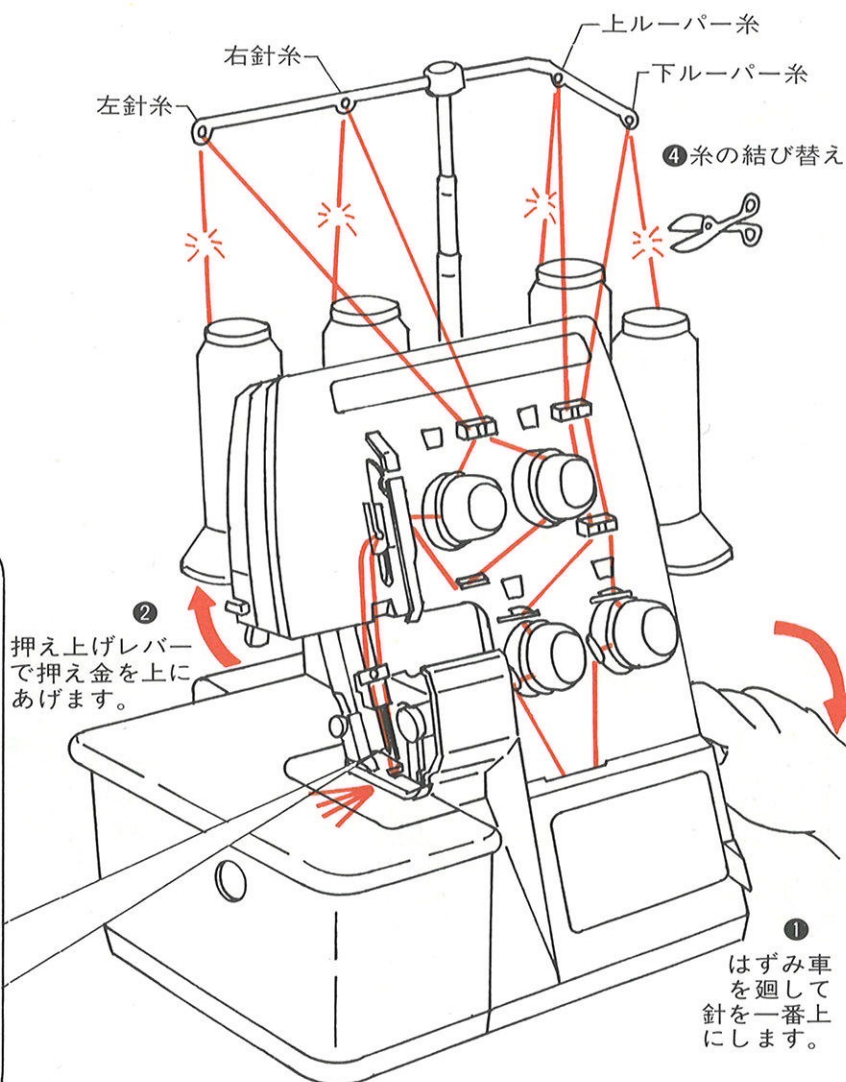
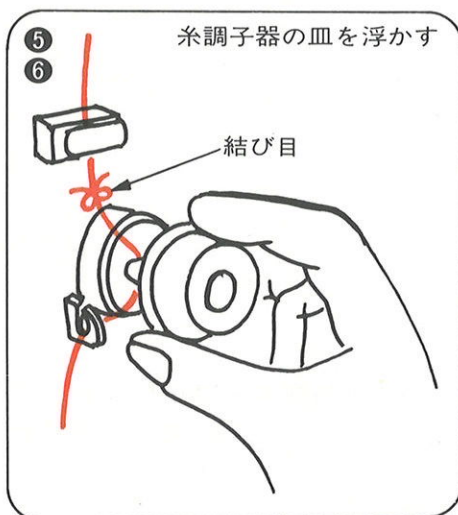
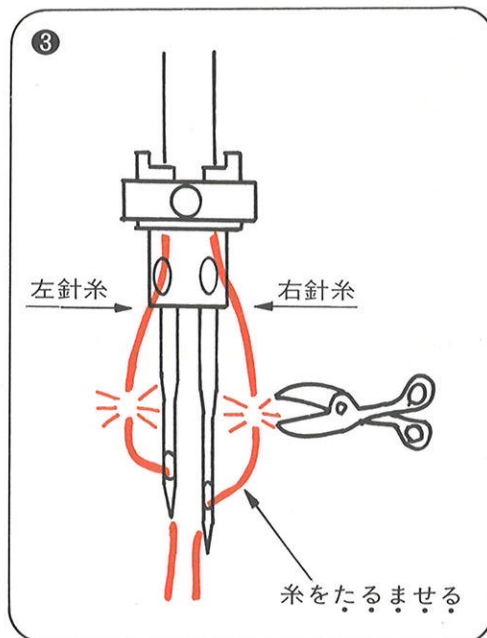
〔木駒糸〕



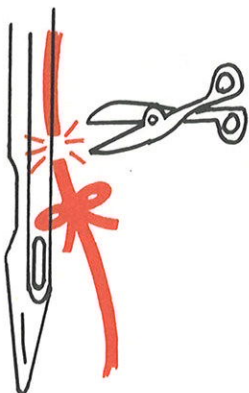
1-6. 糸の簡単な交換

このミシンは、あらかじめ糸がセットされておりますが、色系など別の糸と交換してお使いになる場合は、次のようにしていただくと、再び糸かけをする事なく、簡単に糸の交換ができます。

- ①はずみ車を廻わして針を一番上にあげます。
- ②押え上げレバーで押え金を上にあげます。
- ③針穴の手前で針糸をたるませて切ります。
- ④上ルーパー糸及び下ルーパー糸を糸巻きの近辺で切り、交換する糸に結び替えます。
- ⑤上ルーパー糸の結び目が押え金の下から出てくるまで上ルーパー糸を引き出します。
(この時、結び目がスムーズに出てくる)
(ように糸調子器の皿を浮かして下さい。)
- ⑥同様に、下ルーパー糸の結び目が押え金の下から出てくるまで引き出します。
- ⑦最後に針糸を好みの糸にかけ替えます。
- ⑧押え上げレバーで押え金を下げます。



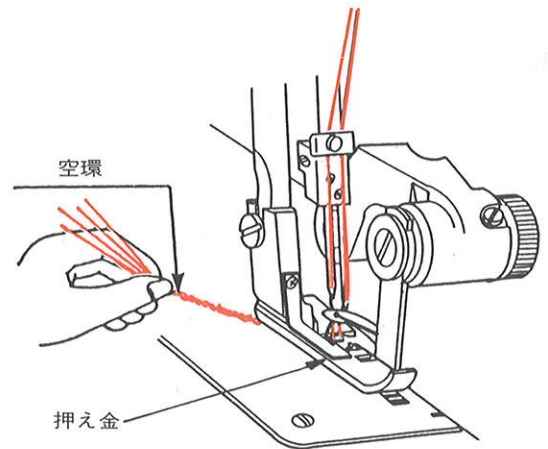
- ⑦ 針糸は結び目が針穴の手前まで来た時、いったん結び目をハサミで切り、再び針穴に通します。



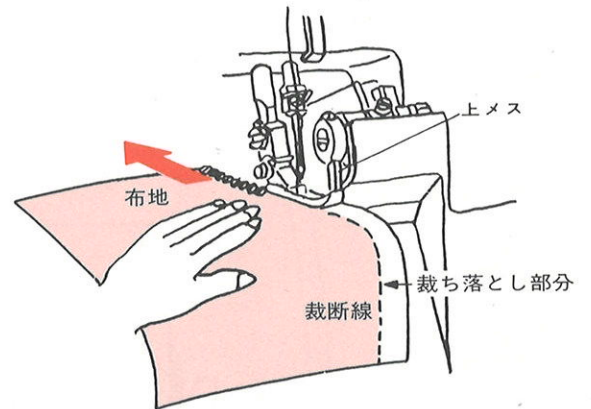
② 縫い始めと縫い終り

① ミシンを動かす時は下側面カバー、メスカバーを閉めて下さい。

① 押え金の下から出ている糸を左手で少し張り気味につまみ、右手ではずみ車を数回廻わしてからコントローラーを軽く踏んで、空環を出します。

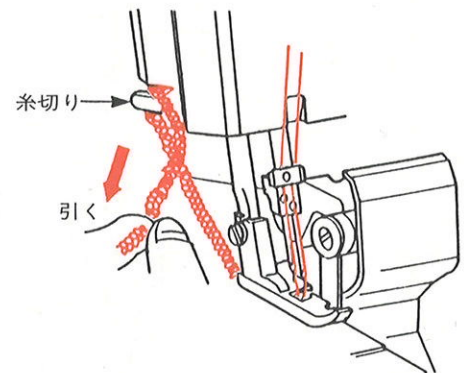


② 布地の裁断線を上メスに合わせて、コントローラーを軽く踏んで、縫い始めて下さい。

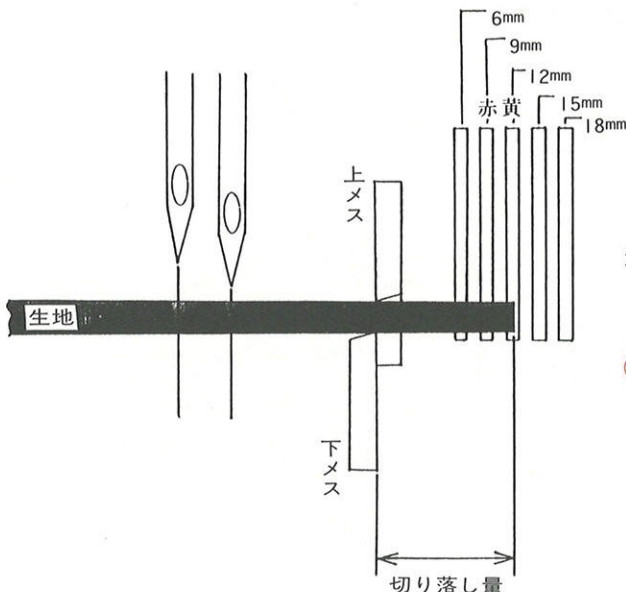


③ 縫い終りは、布地の端から空環を出して糸を切ります。

糸切りの使用方法



切り代シールの使い方



メスカバー正面に貼っております黒線・赤線・黄線のシールは、メスで切り落す生地量の目安シールです。

生地端を切り代シールの赤線に合せると(約9mm)切り落とし、黄線に合せると(約12mm)切り落せます。

① 切り代シールは、目安としてのシールですので正確を要する場合は、前もって試し切りを行い、確認をしてから縫い始めて下さい。

③ 糸のかけ方

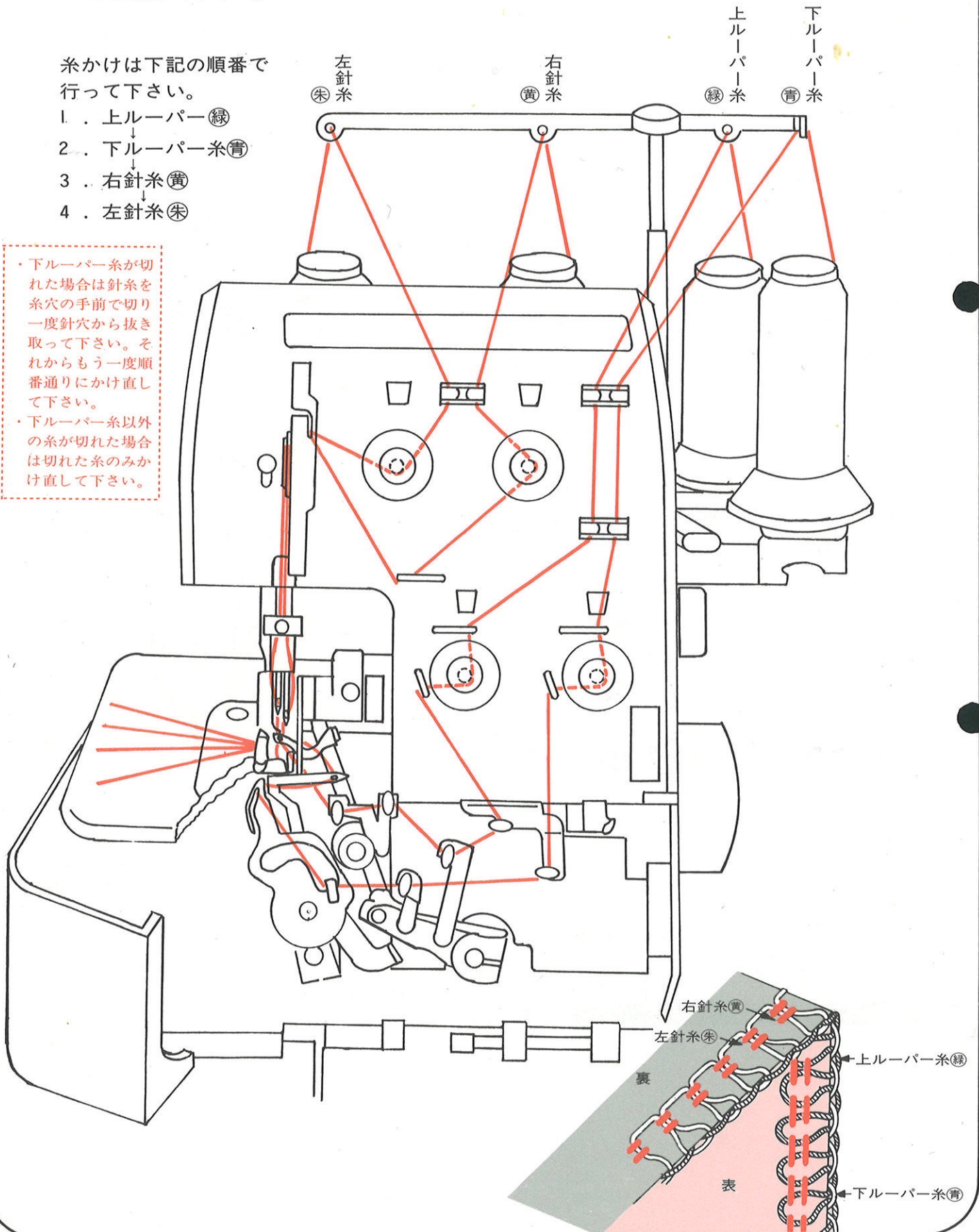
糸かけ全体図

針糸・上ルーパー糸・下ルーパー糸のかけ方は、次項からの説明をご参照して下さい。

糸かけは下記の順番で行って下さい。

1. 上ルーパー糸(緑)
2. 下ルーパー糸(青)
3. 右針糸(黄)
4. 左針糸(朱)

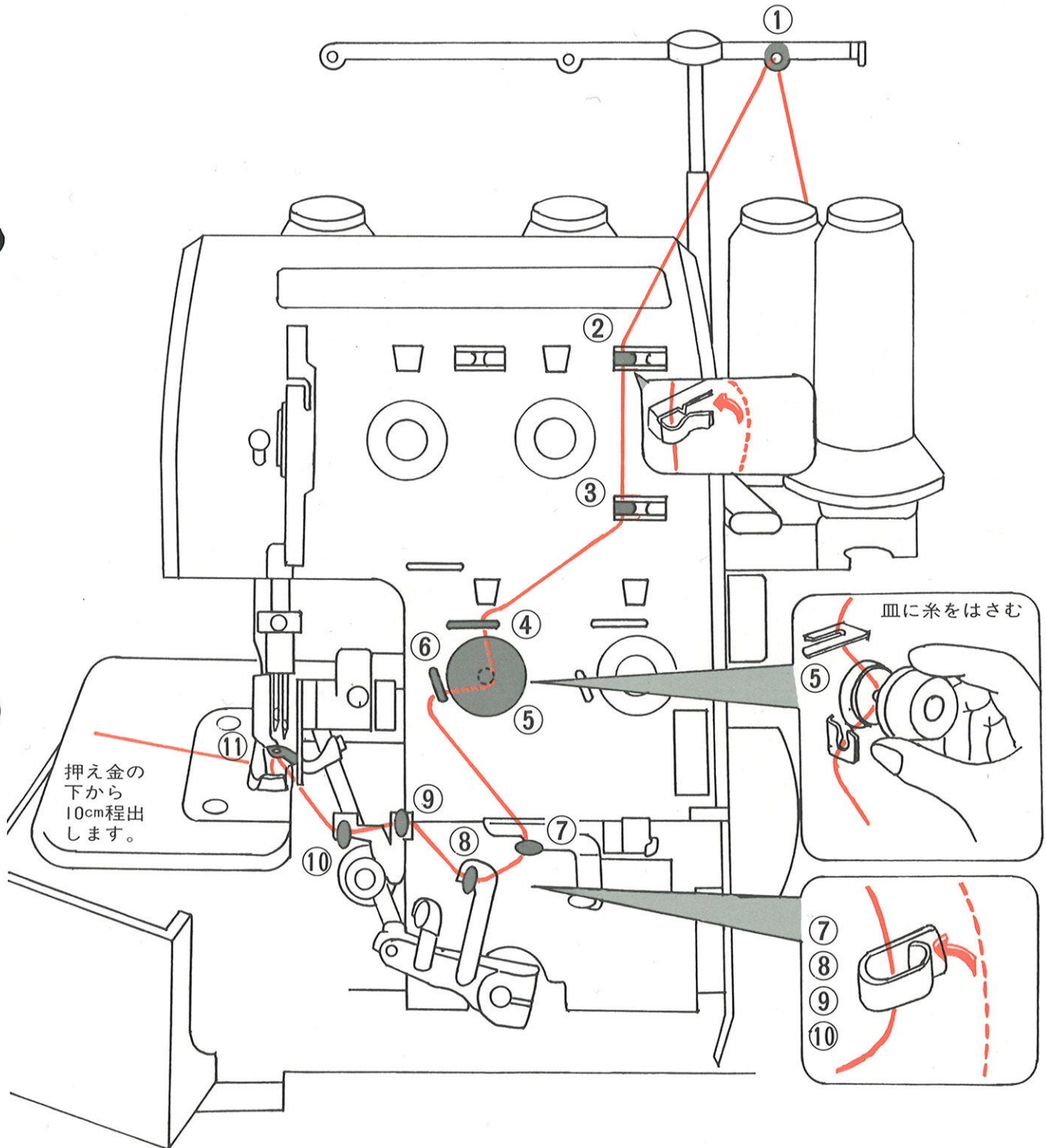
- ・下ルーパー糸が切れた場合は針糸を糸穴の手前で切り一度針穴から抜き取って下さい。それからもう一度順番通りにかけ直して下さい。
- ・下ルーパー糸以外の糸が切れた場合は切れた糸のみかけ直して下さい。



3-1. 2本針4本糸オーバーロック縫いの糸かけ

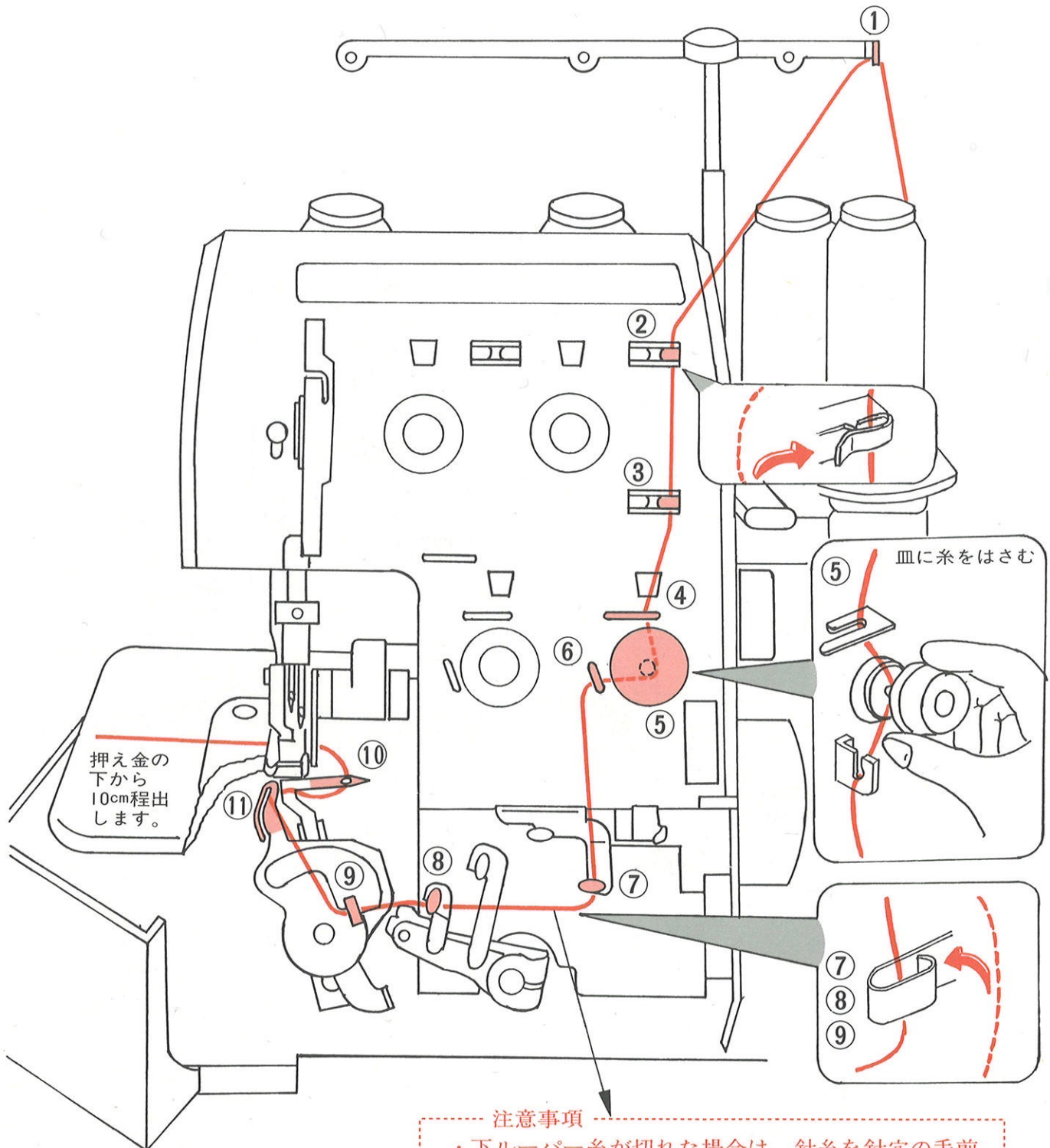
1) 上ルーパー糸かけ

緑のカラーコードに従って
上ルーパー糸をかけます。



2) 下ルーパー糸かけ

⑥のカラーコードに従って
下ルーパー糸をかけます。



※下ルーパー⑩、⑪の糸かけは
P 8の説明を参照して下さい。

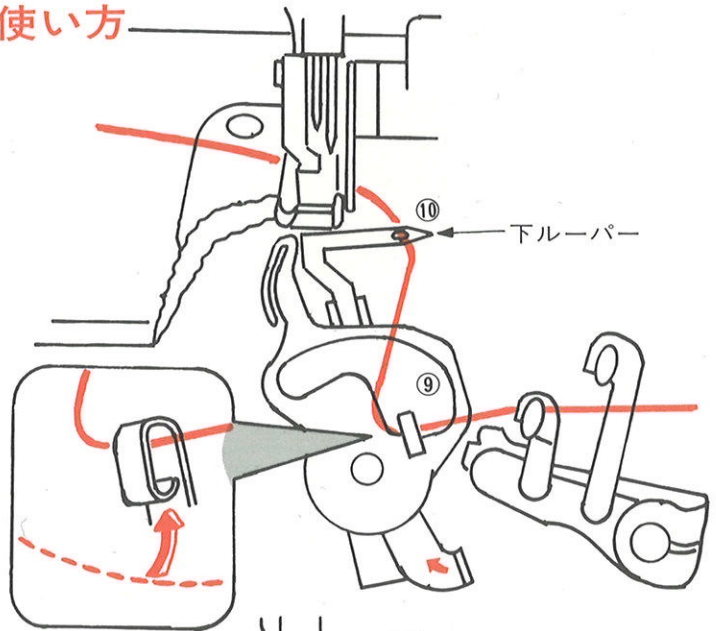
注意事項

- ・下ルーパー糸が切れた場合は、針糸を針穴の手前で切り、一度針穴から抜き取って下さい。それからもう一度順番通りにかけ直して下さい。
- ・下ルーパー糸以外の糸が切れた場合は、切れた糸のみ、かけ直して下さい。

下ルーパー糸かけフックの使い方

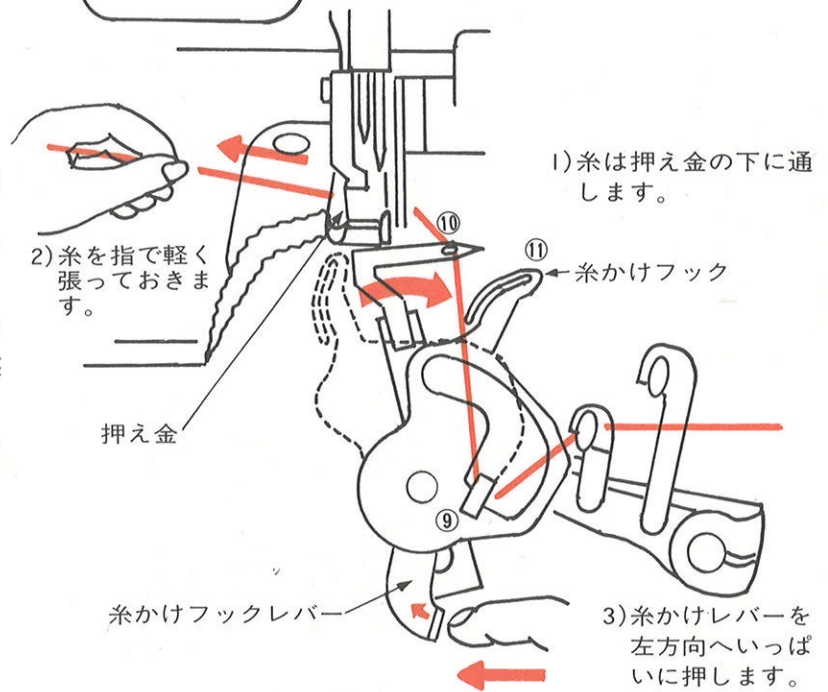
(1)

- 1) ⑧に糸をかけます。
- 2) ⑩の下ルーパー糸穴に糸を通します。



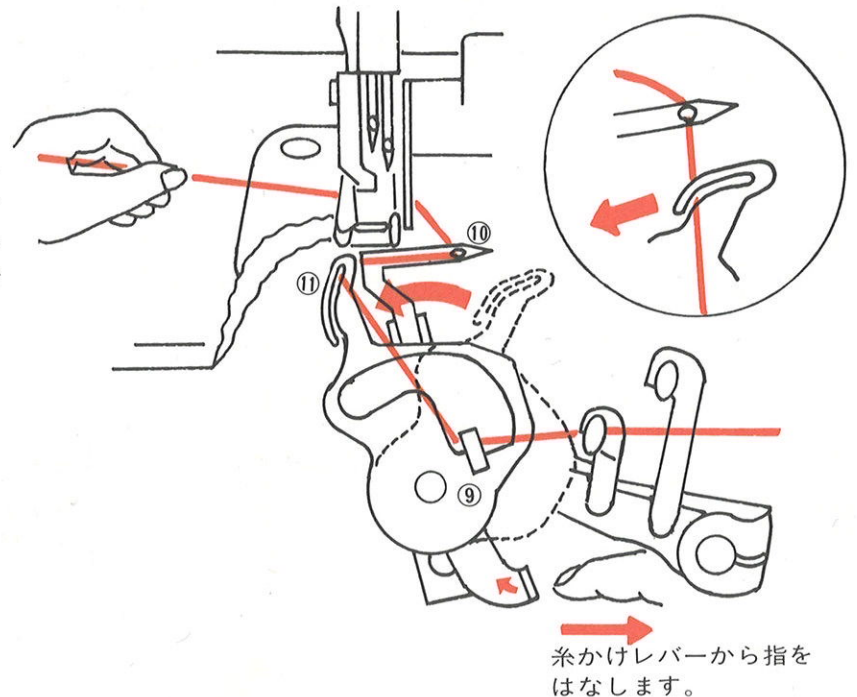
(2)

- 1) ⑩の下ルーパー糸穴に通した糸は、必ず上ルーパーの上から(こえて)、押え金の下へ通して下さい。
- 2) 押え金の下へ通した糸を指でつかみ、軽く左方向へ張った状態にします。
- 3) 糸かけフックレバーを左方向へとまるまで押します。糸かけフックが右方向へ移動します。



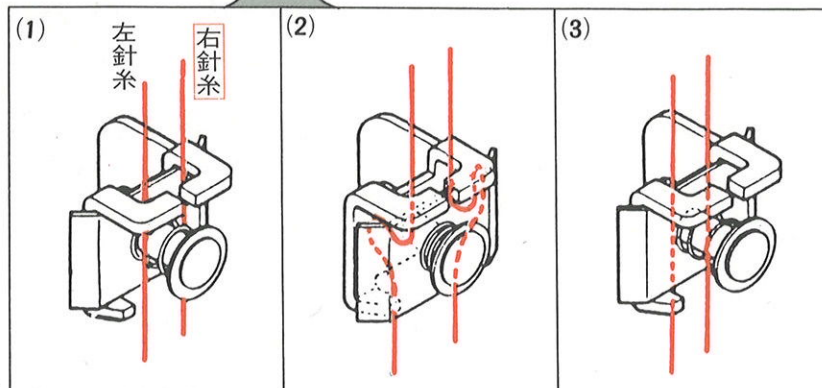
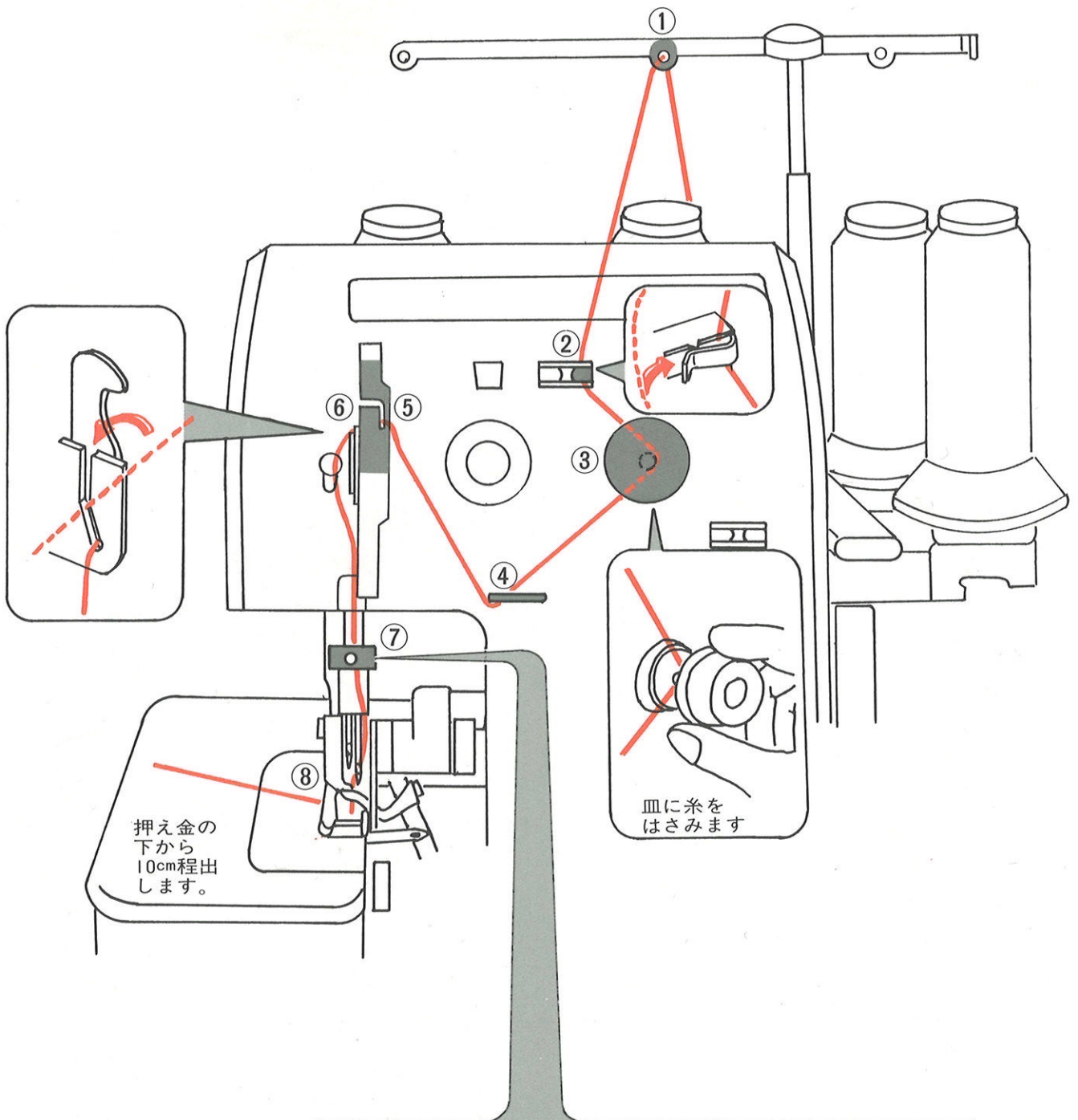
(3)

糸かけフックレバーから指をはなします。糸かけフックは、下ルーパー糸を引っ掛け、左方向の元の位置へ戻り、下ルーパーの糸かけは完了です。

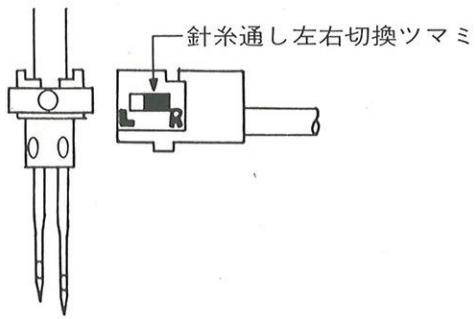


3) 右針糸かけ

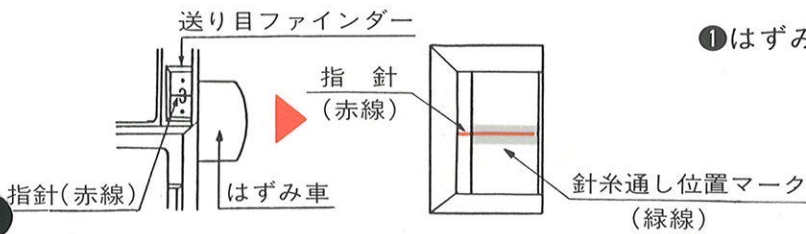
⑧のカラーコードに従って
右針糸をかけます。



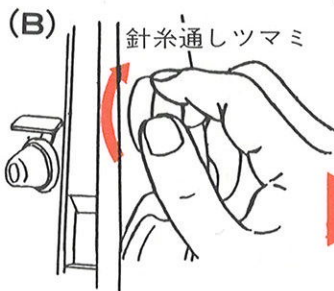
針糸通し装置(右針に対して)の使い方



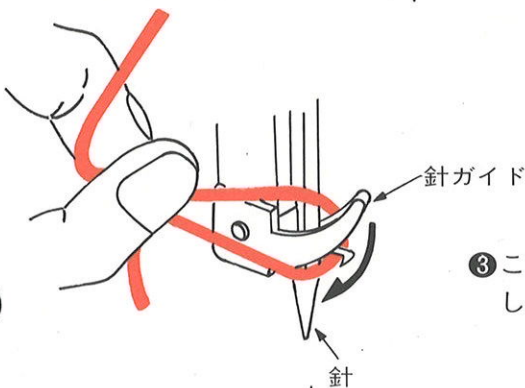
※左図の針糸通し左右切換つまみは糸を通したい針に対しての切換つまみです。
 右針に糸を通す時はつまみをR側へ
 左針に糸を通す時はつまみをL側へ切り換えます。



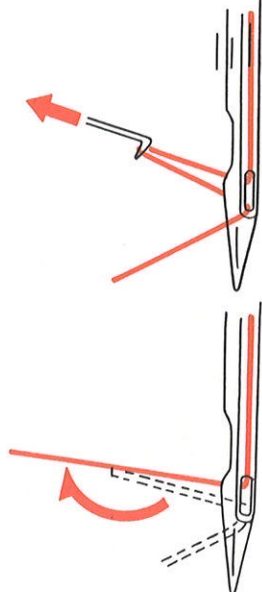
①はずみ車を廻し、針を一番上に上げます。
 (赤線と緑線を合わせる)



②(A)図のように針糸通し左右切換つまみをR側に切換えます。
 (B)図のように針糸通しつまみを廻すとフックが針穴の後方から手前出てきます。



③この状態で、左手に糸を輪状にし、針ガイドに引っかけて、少し上方向に張り気味にしておきます。

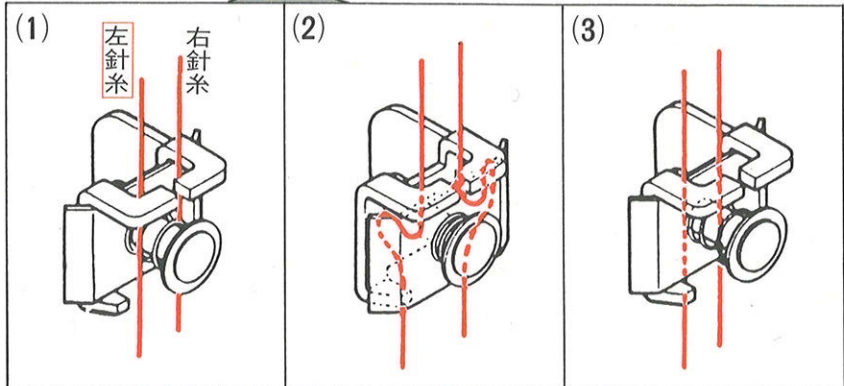
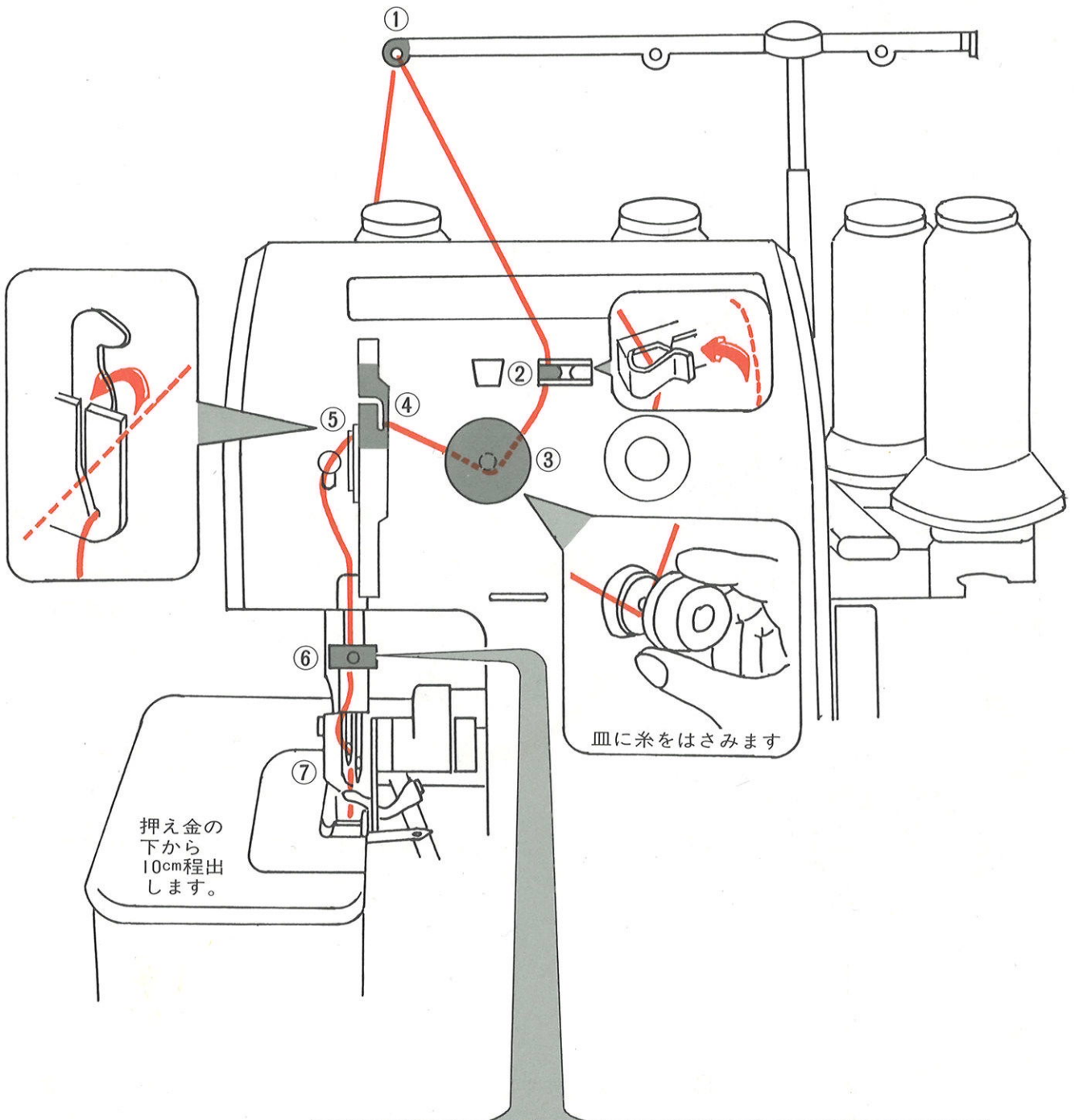


④左手で輪を保持したまま、針糸通しつまみをゆるめて戻します。
 フックは糸を引っかけた状態で、後方に引っ込みます。

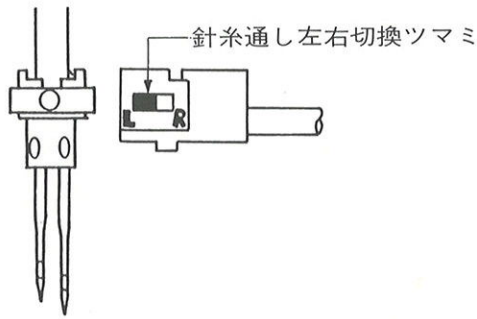
⑤フックから糸をはずします。

4) 左針糸かけ

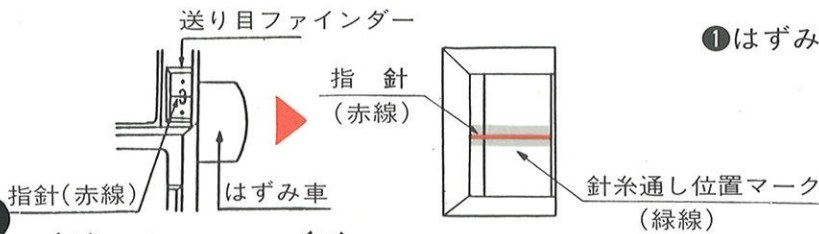
㊦のカラーコードに従って
左針糸をかけます。



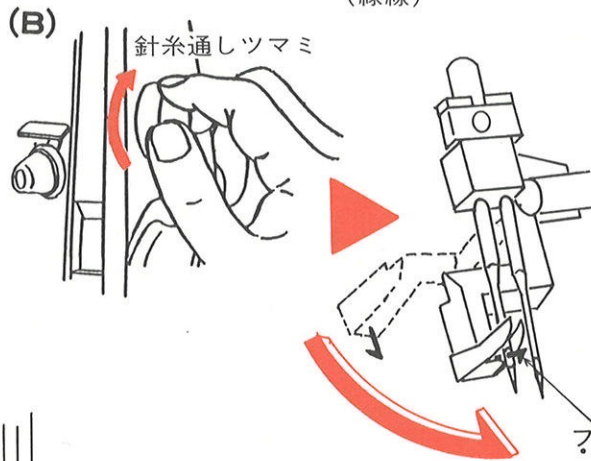
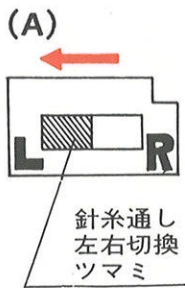
針糸通し装置(左針に対して)の使い方



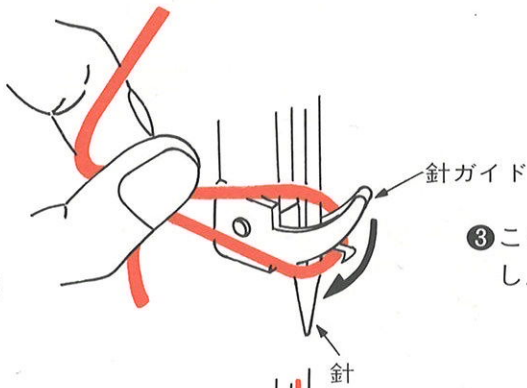
※左図の針糸通し左右切換ツマミは糸を通したい針に対しての切換ツマミです。
 右針に糸を通す時はツマミをR側へ
 左針に糸を通す時はツマミをL側へ切り換えます。



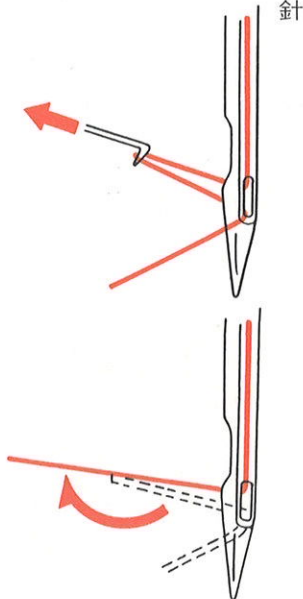
①はずみ車を廻し、針を一番上に上げます。
 (赤線と緑線を合わせる)



②(A)図のように針糸通し左右切換ツマミをL側に切換えます。
 (B)図のように針糸通しツマミを廻すとフックが針穴の後方から手前に出てきます。



③この状態で、左手に糸を輪状にし、針ガイドに引っかけて、少し上方向に張り気味にしておきます。



④左手で輪を保持したまま、針糸通しツマミをゆるめて戻します。
 フックは糸を引っかけた状態で後方に引っ込みます。

⑤フックから糸をはずします。

5) 2本針4本糸オーバーロック縫いの糸調子のとり方

糸調子は布地や糸の種類によって違います。バランスのとれた美しい縫い目になるように各糸調子器で調節してください。

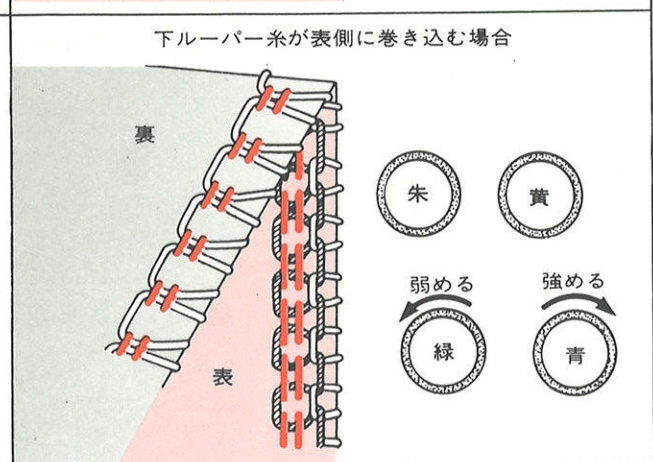
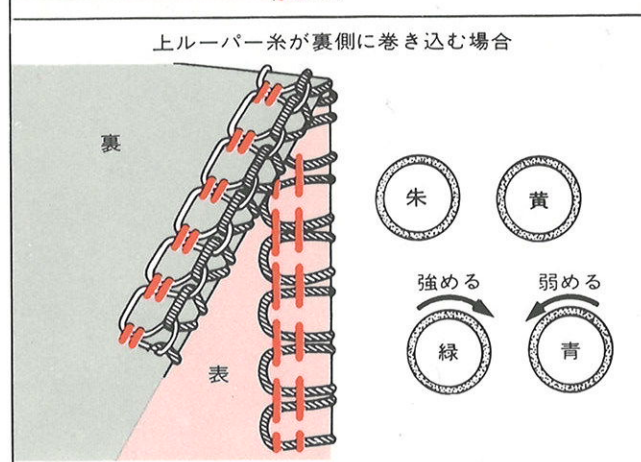
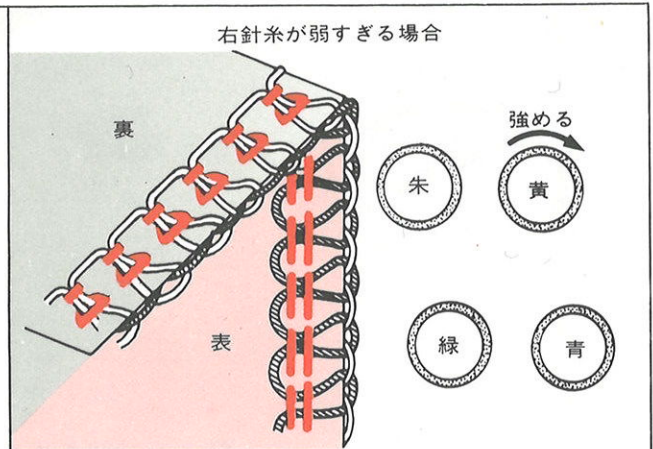
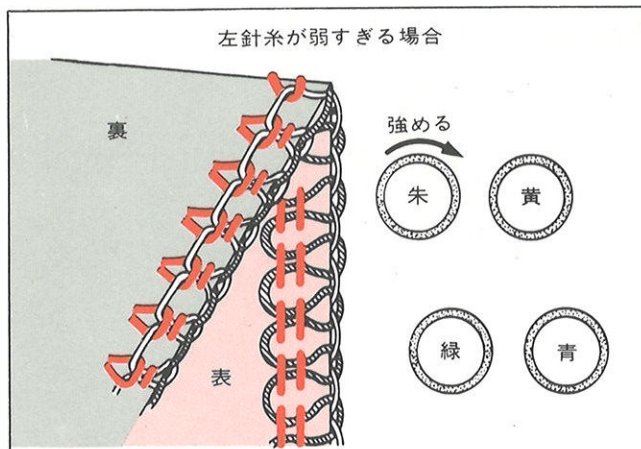
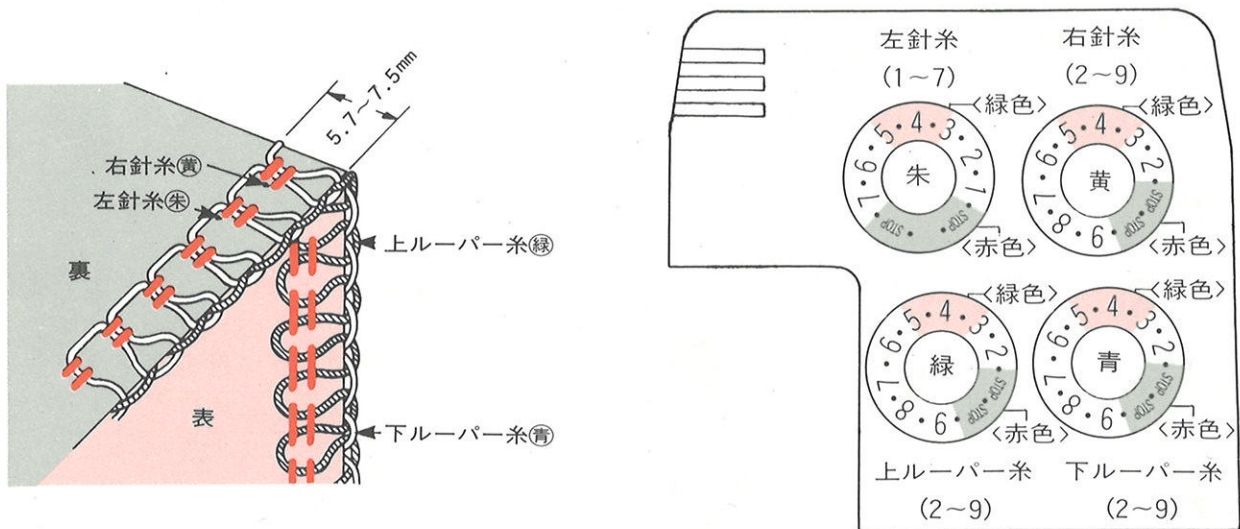
各糸調子器は数字が大きくなるに従って、糸調子は強くなります。反対に数字が小さくなるに従って、糸調子は弱くなります。

合わせ縫いの場合は、かがり縫いの時より針糸を少し強めにしてください。

糸調子器の標準値は4を中心とした緑色の範囲です。

*この標準値は、綿ブロードを、スパン糸#90、送り目2.5mm(標準値)、かがり幅6.0mm(標準値)、あこ〜でおんレバー位置Nで縫った時のものです。ほとんどの生地はこの緑の範囲で縫えますが、生地や糸、その他用途により若干の調節を必要とする場合もあります。

*糸調子器の赤色の範囲は、ツマミの回転の限界です。故障の原因になりますので、STOPの文字が見えたらそれ以上は回さないでください。



3-2. 1本針3本糸オーバーロック縫いの糸かけ

1本針3本糸オーバーロック縫いには、右針使用と左針使用の2通りがあります。

1) 左針使用の場合

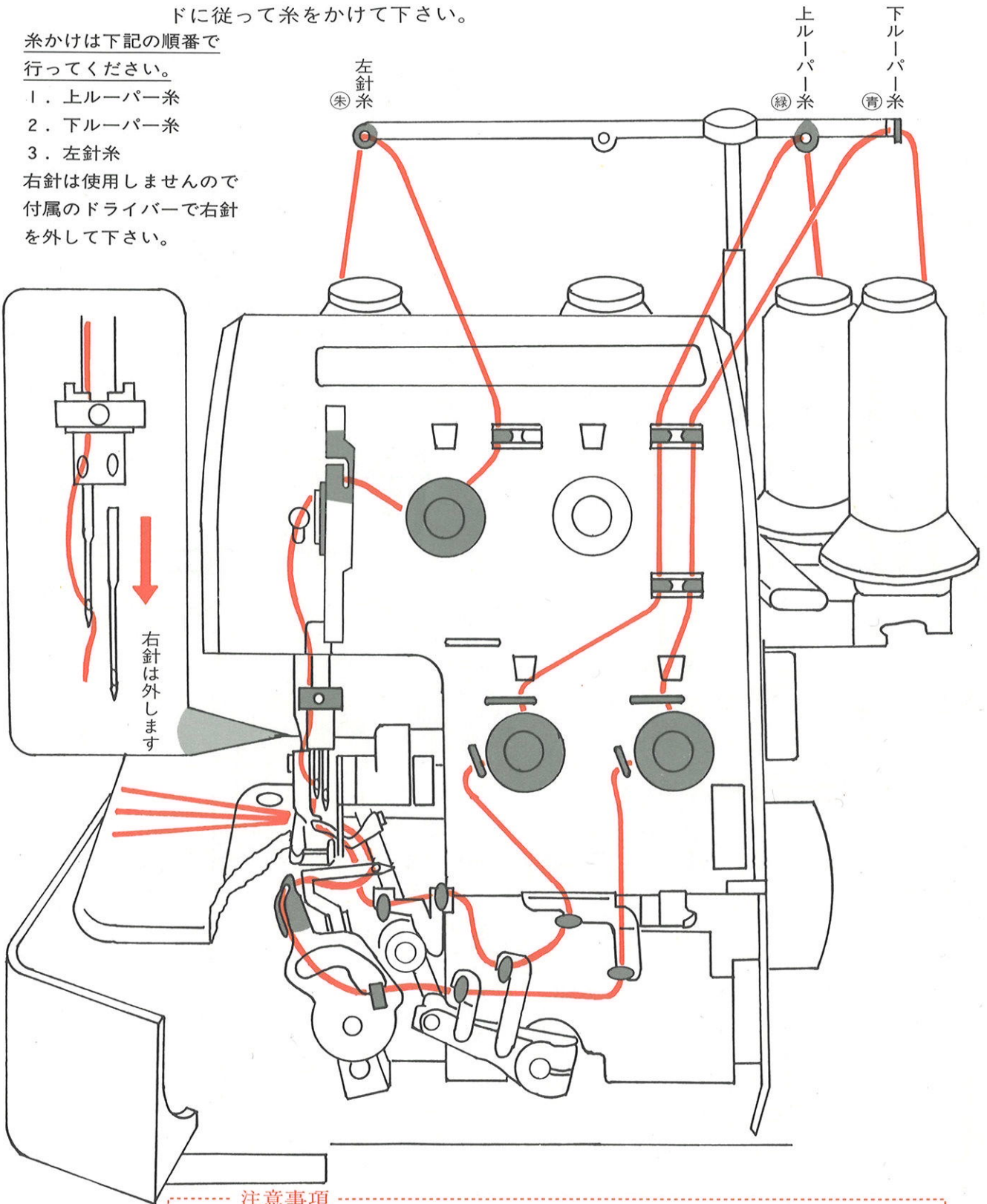
上ルーパー糸(緑)、下ルーパー糸(青)、左針糸(朱)のそれぞれのカラーコードに従って糸をかけて下さい。

左針を使用するとかがり幅は5.7~7.5mmの範囲で変更できます。

糸かけは下記の順番で行ってください。

1. 上ルーパー糸
2. 下ルーパー糸
3. 左針糸

右針は使用しませんので付属のドライバーで右針を外して下さい。



注意事項

- ・下ルーパー糸が切れた場合は、針糸を針穴の手前で切り、一度針穴から抜き取って下さい。それからもう一度順番通りにかけ直して下さい。
- ・下ルーパー糸以外の糸が切れた場合は、切れた糸のみかけ直して下さい。

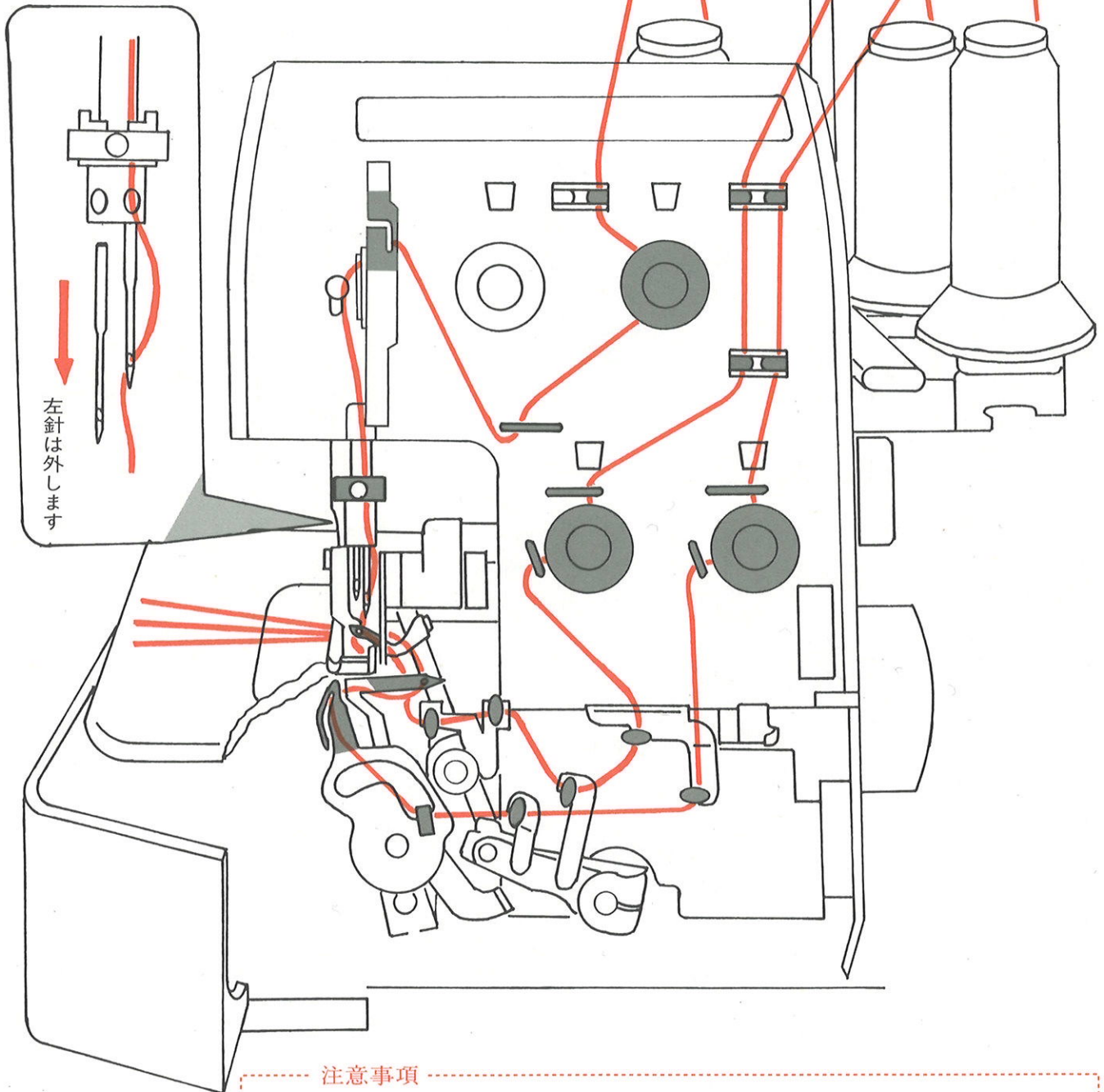
3-3. 1本針3本糸オーバーロック縫いの糸かけ

2) 右針使用の場合

上ルーパー糸^③、下ルーパー糸^④、
右針糸^⑤のそれぞれのカラーコー
ドに従って糸をかけて下さい。

右針を使用するとかがり幅は
3.5~5.3mmの範囲で変更できます。

左針は使用しませんので
付属のドライバーで左針
を外して下さい。



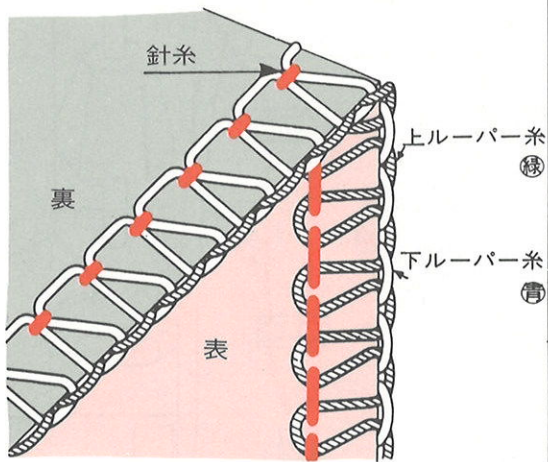
注意事項

- ・下ルーパー糸が切れた場合は、針糸を針穴の手前で切り、一度針穴から抜き取って下さい。それからもう一度順番通りにかけ直して下さい。
- ・下ルーパー糸以外の糸が切れた場合は、切れた糸のみかけ直して下さい。

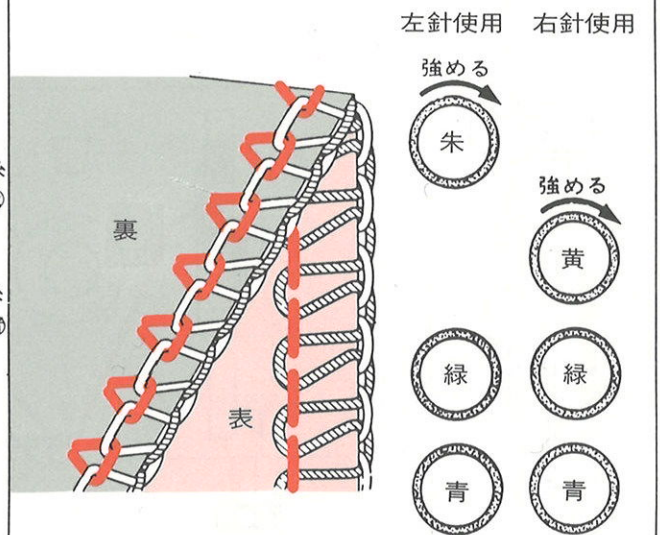
1本針3本糸オーバーロック縫いの糸調子のとり方

1本針3本糸オーバーロック縫いの糸調子のとり方は、左針使用・右針使用も同様です。但し、左針を使用の場合は左針糸調子器（朱色）を、また右針を使用の場合は右針糸調子器（黄色）で調節して下さい。

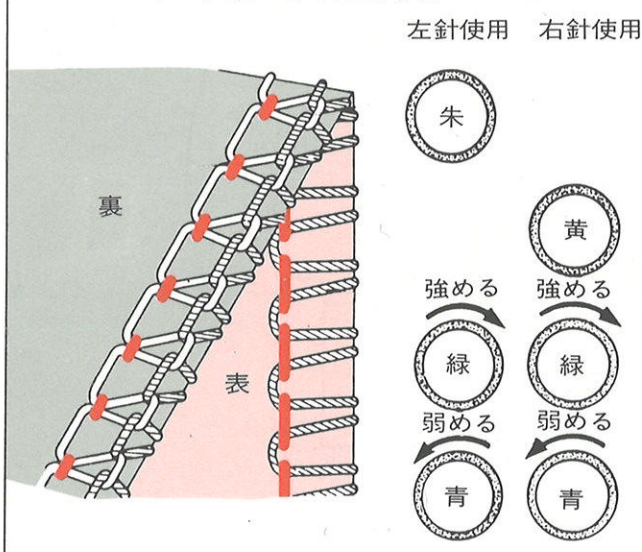
〔美しい縫い目〕



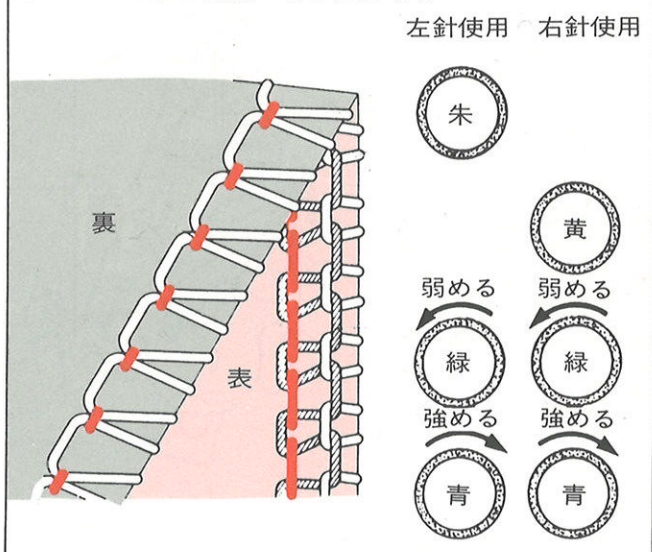
針糸が弱すぎる場合



上ルーバー糸が裏側へ巻き込む場合



下ルーバー糸が表側へ巻き込む場合



3-4. 1本針2本糸縁かがり縫いの糸かけ

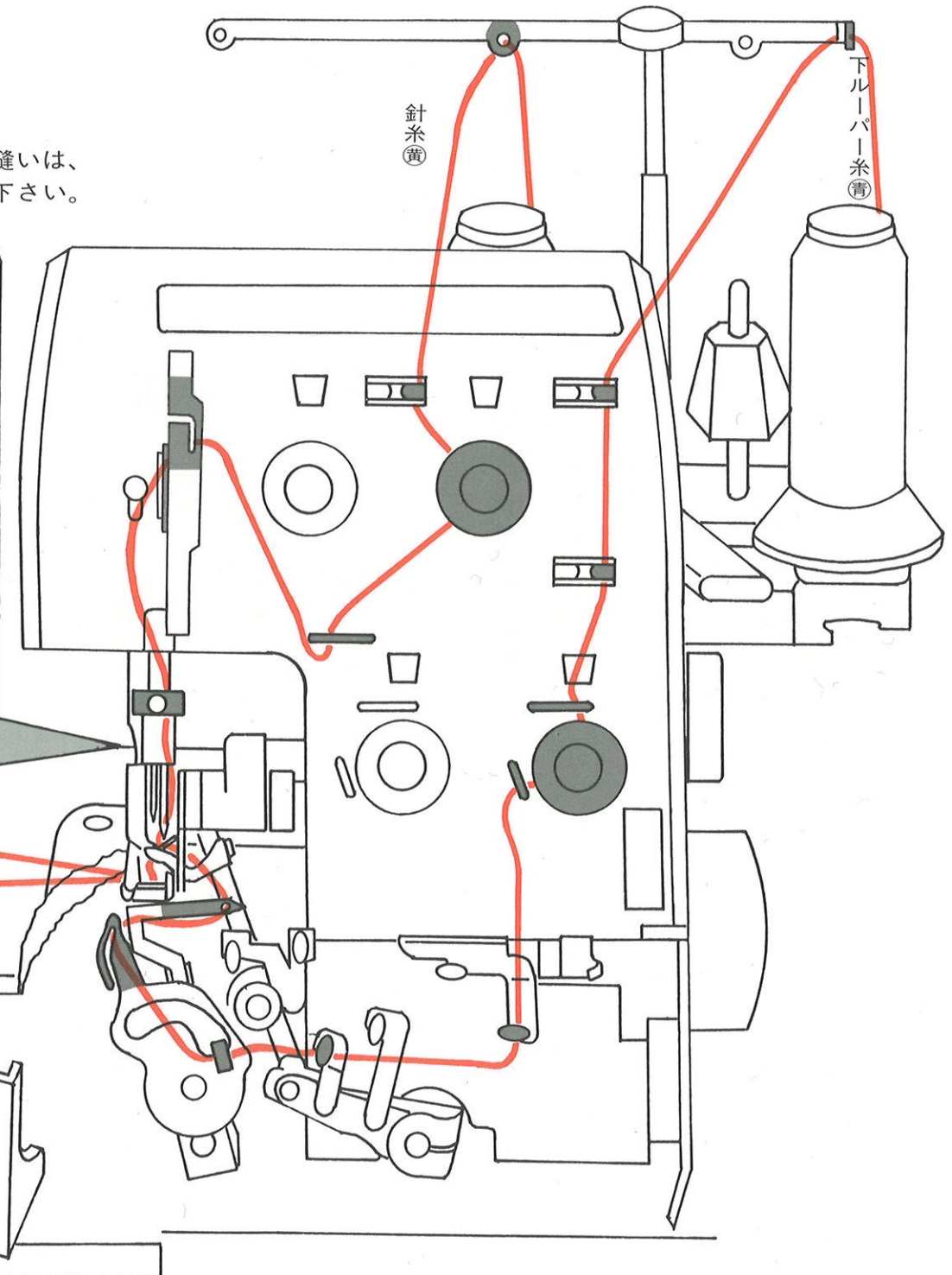
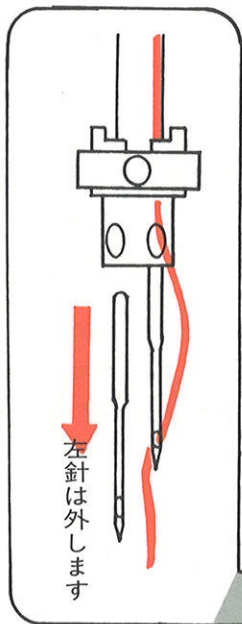
2本糸への切換え

2本糸で縫う場合、上ルーバー糸は使用しませんので抜いて下さい。

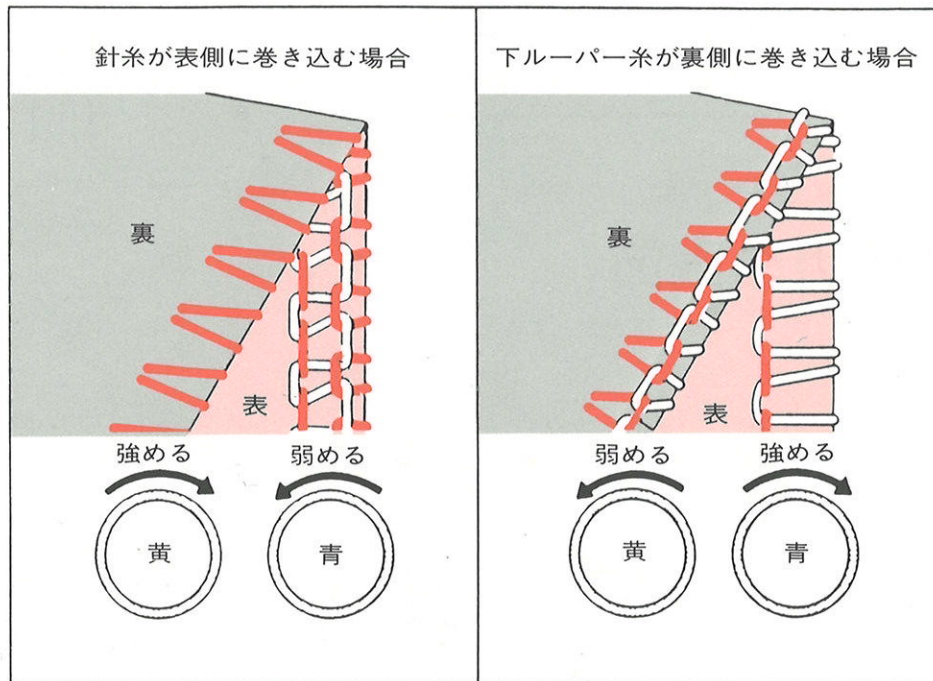
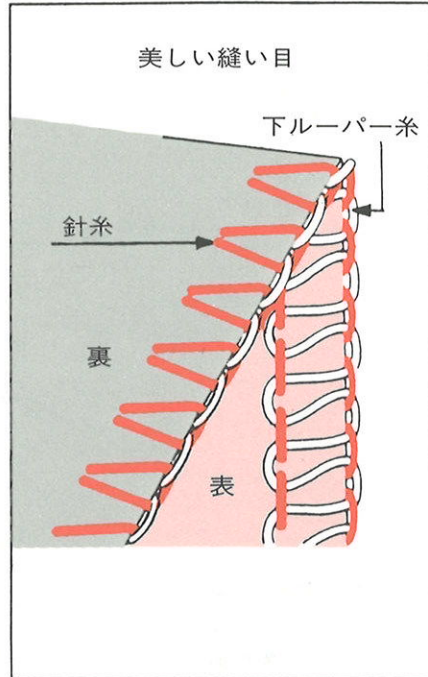
交換ルーバーの先端を上ルーバーの糸穴に入れて下さい。



2本糸縁かがり縫いは、右針を使用して下さい。



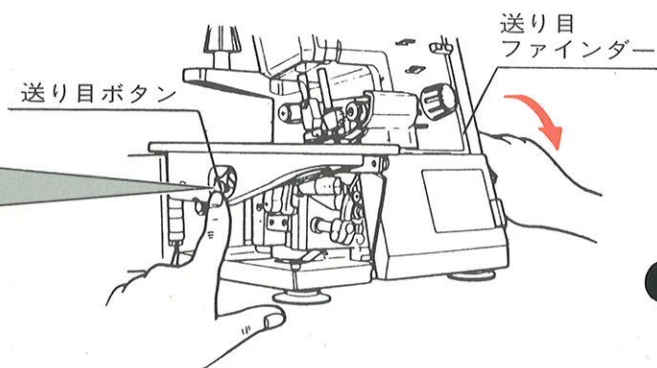
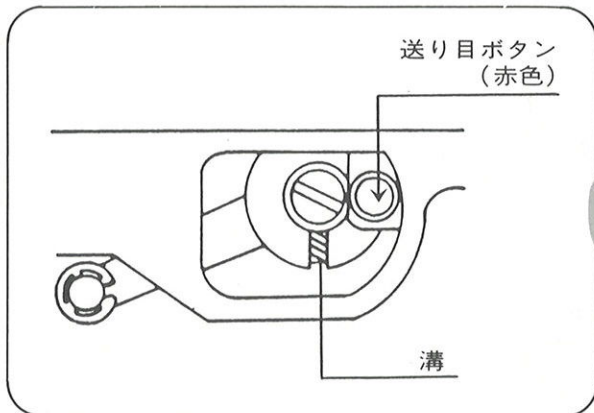
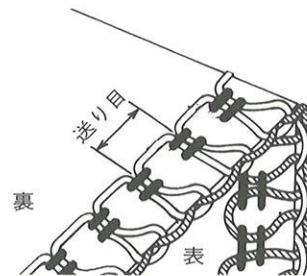
1 本針 2 本糸縁かがり縫いの糸調子のとり方



④ 送り目の調節

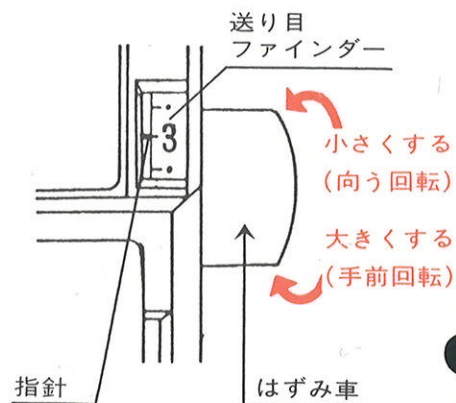
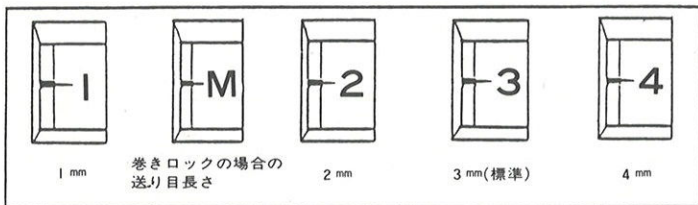
送り目の調節は、「送り目ファインダー」を見ながら、「送り目ボタン」と「はずみ車」で行ないます。

- ① 下側面カバーを開きます。
- ② 左手で送り目ボタン(赤色)を強く押しながら、溝に送り目ボタンがパチンと入り込むまで、右手ではずみ車を回します。



- ③ 送り目ボタンが溝に入ったまま (送り目ボタンを押し続けた状態で)、再びはずみ車を回し、ミシン正面右下の送り目ファインダーの指針に、希望の送り目を合わせます。

④ 送り目を小さくする場合、はずみ車は向うに廻して下さい。



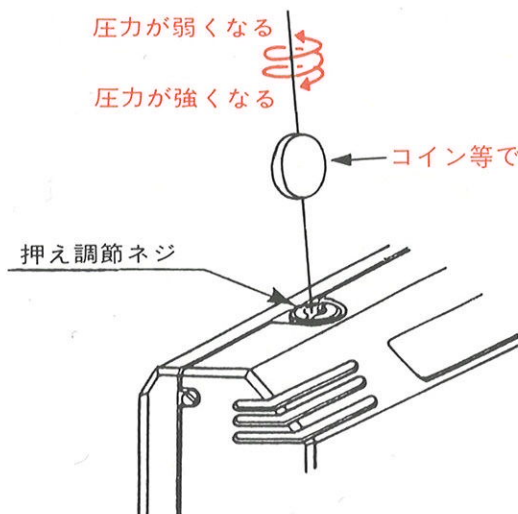
⑤ 押え圧力の調節

圧力が弱くなる

圧力が強くなる

← コイン等で回して下さい。

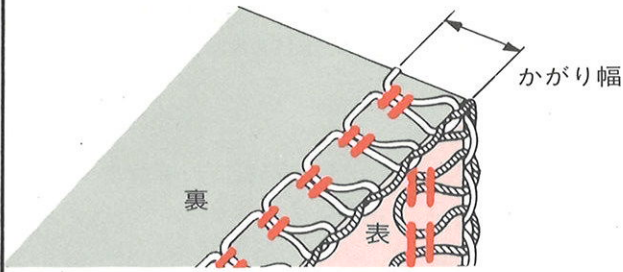
押え調節ネジ



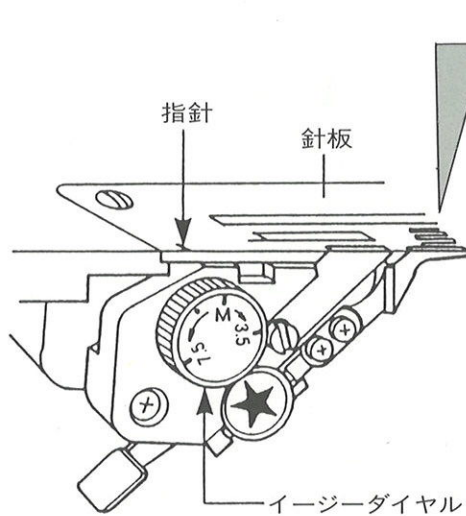
⑥ かがり幅の変更

※作業はメスカバー、下側面カバーを開けて行って下さい。

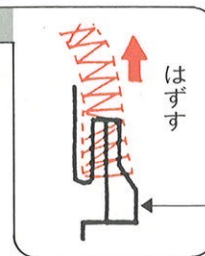
- ① 押え上げレバーで押え金を上げます。
- ② 針を一番上に上げます。



針糸を針穴の手前でたるませる。

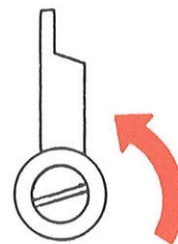


③



針板爪の空環をはずす。

④

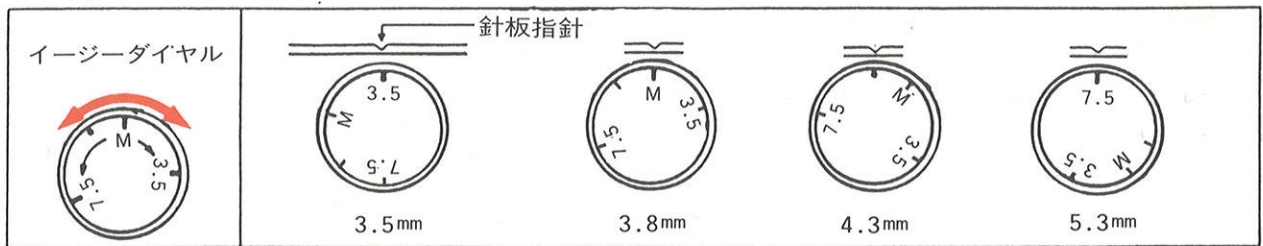


上メスを上方向へ回転させます。

⑤縫う時は、必ず上メスを元の位置(下方向)に戻して下さい。

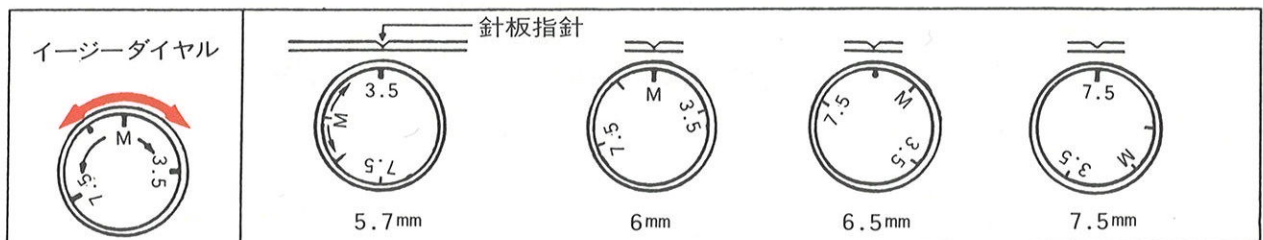
右針を使用した場合のかがり幅と数字の合わせ方。

イージーダイヤルを回し指針に希望の数字を合わせる。



2本針で縫う場合と左針を使用した場合のかがり幅と数字の合わせ方。

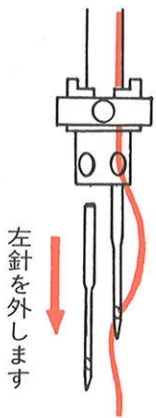
イージーダイヤルを回し指針に希望の数字を合わせる。



⑥縫う時は、必ず上メスを元の位置(下方向)に戻して下さい。

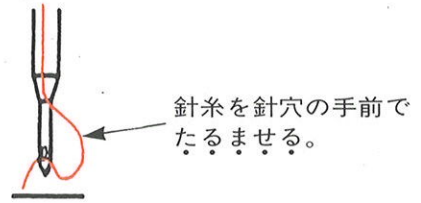
⑦ 巻きロックのやり方

※作業はメスカバー、下側面カバーを開けて行って下さい。

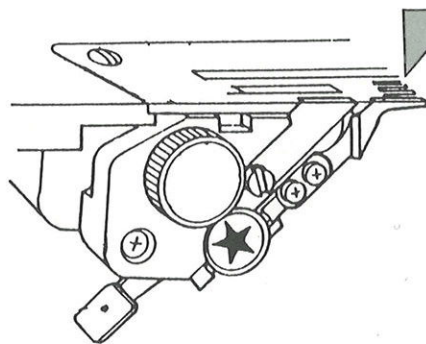


巻きロックは右針を使用します。
左針は必ず取りはずして下さい。

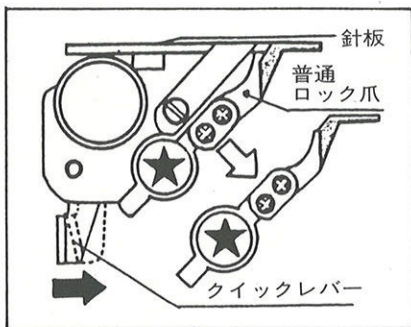
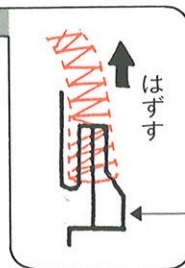
- ① 押え上げレバーで押え金を上げます。
- ② 針を一番上に上げます。



③

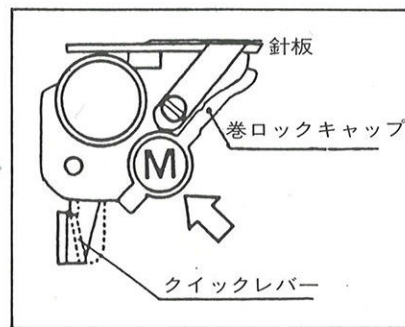


針板爪の空環を外す。



- ① クイックレバー (⇒) を押して普通ロック爪 (★) を取りはずします。

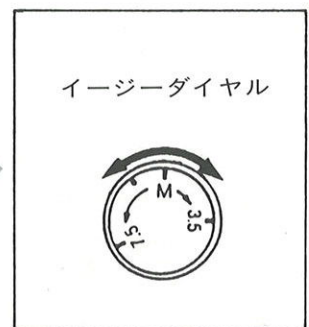
② 普通ロック爪を取りはずした際、取付個所を付属のブラシで清掃して下さい。



- ② 巻きロックキャップ (M / 付属) をハメ込む。

(M印部分を押しして下さい)

③ 巻きロックキャップ、普通ロック爪をハメ込む時はカチッと音がするまで強く押しして下さい。

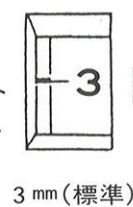
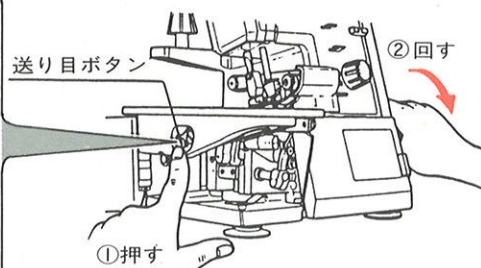
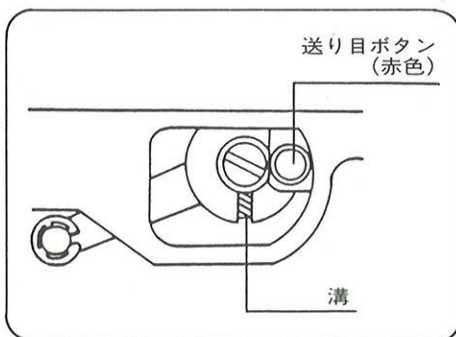


- ③ イージーダイヤルを廻し、指針をM線に合わせる。

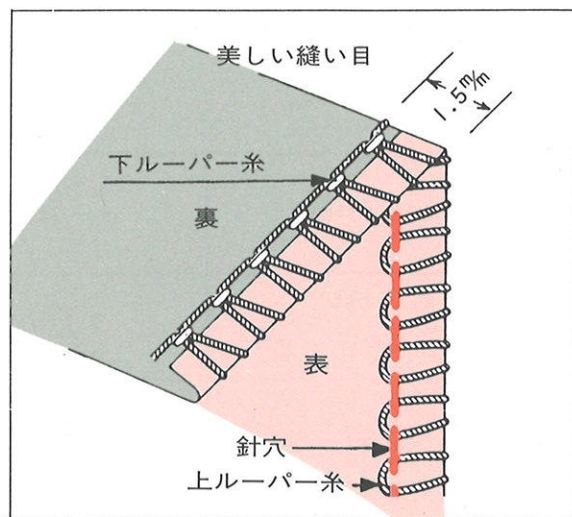
④ イージーダイヤルを廻す時は上メスを上方向に回転させます。

送り目長さのセット

巻きロックをする場合は、送り目をMに合わせて下さい。Mはあくまでも標準値です。お好みにより送り目の調節を行って下さい。(P19.「4 送り目の調節」の項参照して下さい)

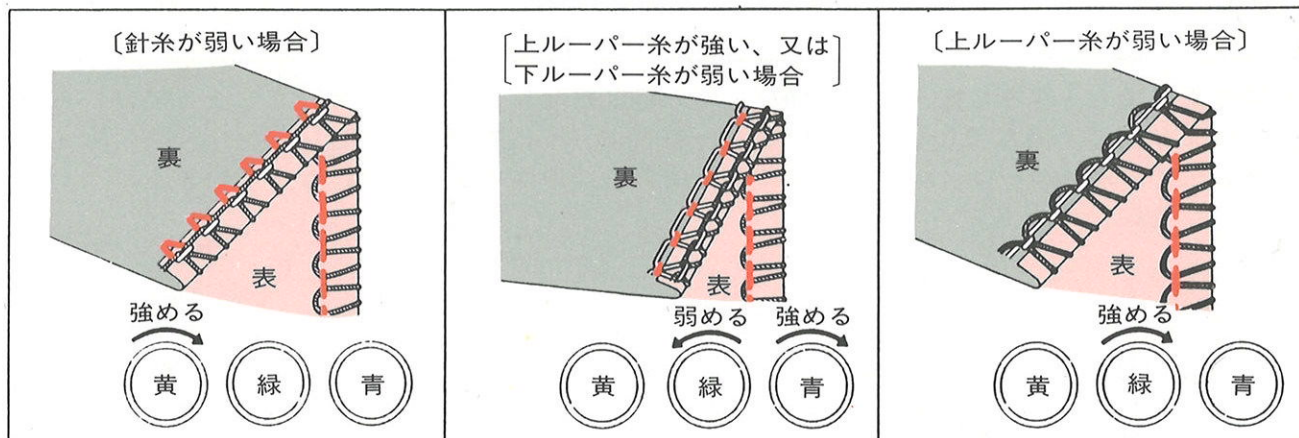


巻きロックの糸調子のとり方



※巻きロックは、下図のように生地端を裏側へ折り込みますので、糸調子は普通ロックより下ルーバー糸を強めに調節します。

⑨普通ロックへ戻した時は、弱め方向へ下ルーバー糸を戻して下さい。



P26. 「布地に対する糸調子の目安位置」の項ご参照ください。

⑧ あこ〜でおんレバーの操作

ニット地をはじめバイヤス部分など、伸びて縫い上がりが波をうってしまう様な生地は、レバーを《N》より上にして、縮み縫いにすると、たいらに仕上がります。

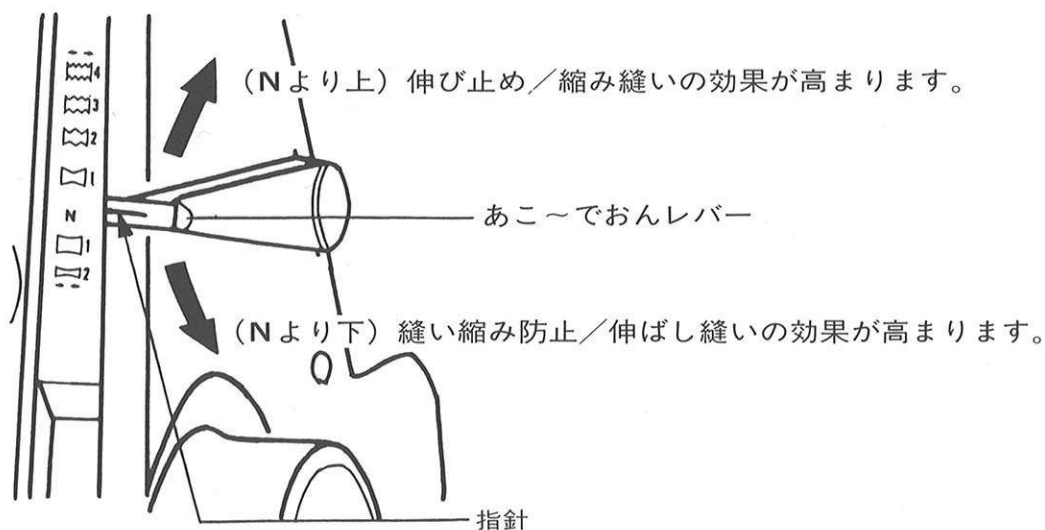
逆に、薄地の縁かがりや巻きロックなど、縫い縮みしやすい生地を縫う時は、レバーを《N》より下にして伸ばし縫いにするときれいに仕上がります。

〔縮み縫い・伸ばし縫いの目安位置〕

あこ〜でおんレバー使用例 (こんな時に レバーを使います)	レバーの操作	レバーの目盛	送り目の長さ
スムーズ・メリヤスの 縫い合わせ	縮み縫い (Nより上にする)	1～2 ↑ N	2.5
編み地等の縫い合わせ	"	3～4 ↑ N	2.5
フレアスカートヘムの いせ込み	"	2～3 ↑ N	3
フリルギャザー	"	1～4 ↑ N	4
薄地の縁かがり	伸ばし縫い (Nより下にする)	1 ↓ N	3
巻きロック	"	1～2 ↓ N	M

※同じ素材でも、厚さや織り方向で伸び・縮み量は異なりますので、伸びてしまう時はレバーをNより上に、縮んでしまう時は、レバーをNより下に動かして下さい。

あこ〜でおんレバーは、縫いながらでも自由自在に操作できるようになっています。



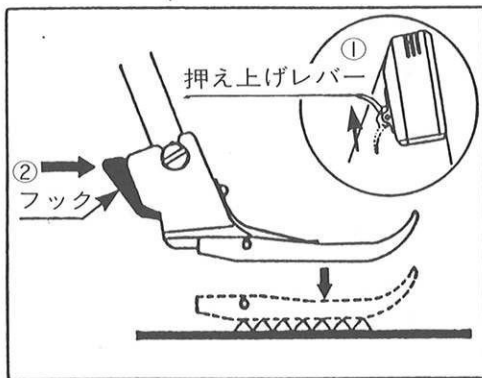
⑨ バルキー押え金を使用する場合

バルキーニットの縫製やいせ込み量を多くしたい時、また各種のテープを入れて縫う時は付属のバルキー押え金をご使用下さい。

押え金の交換

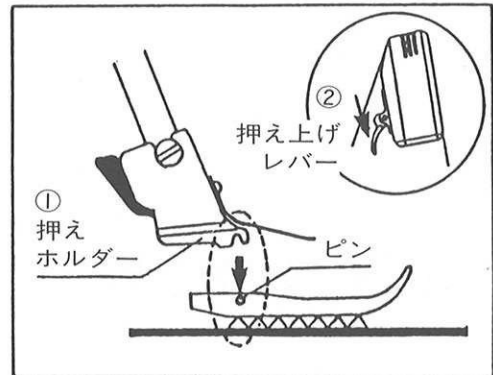
〔押え金の取りはずし〕

- ① 押え上げレバーで押え金を上げる。
- ② フックを押し、押え金をはずす。



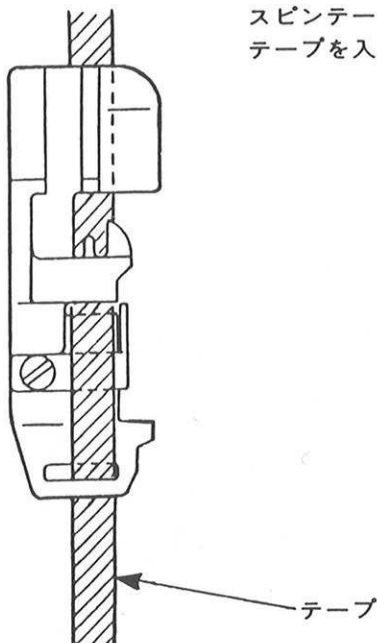
〔押え金の取り付け〕

- ① 押え金のピンが、押えホルダーの下にくるように置く。
- ② 押え上げレバーを下げて、ホルダーと押え金を取り付ける。

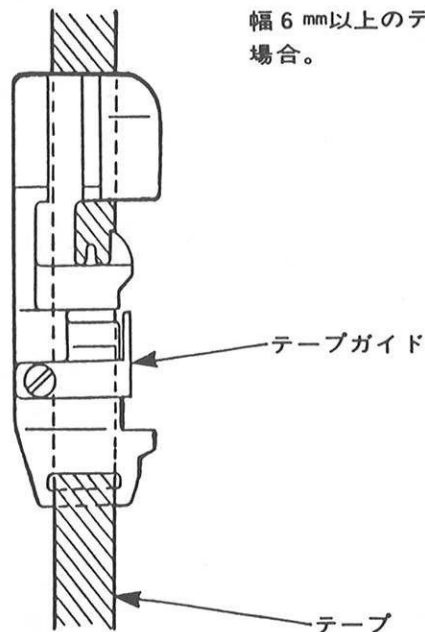


テープ縫いの方法

スピンテープ等、幅6mm迄のテープを入れる場合。



幅6mm以上のテープを入れる場合。



何れの場合も、針を一番上にして押え金を上げ、テープを入れ、押え金を下げて、空縫いしてから縫い始めます。

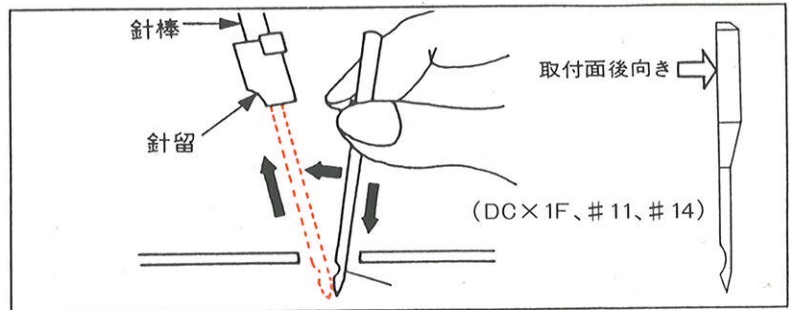
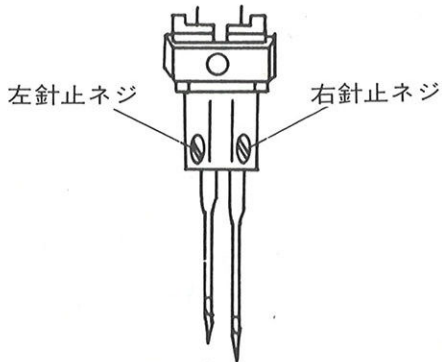
(肩線等には、別売のウーリースピンテープをお使い下さい。)

⑩ 針の交換

※針の交換は、必ず電源プラグを抜いてから作業して下さい。

このミシンの使用針DC×1Fは、取付面が平になっていますので、取付面を後向きにすれば、まちがいなく取付けることができます。

- ①針を一番上にあげます。②針止ネジをゆるめて針を外します。③新しい針を針棒の穴の奥まで差し込みネジ止めします。

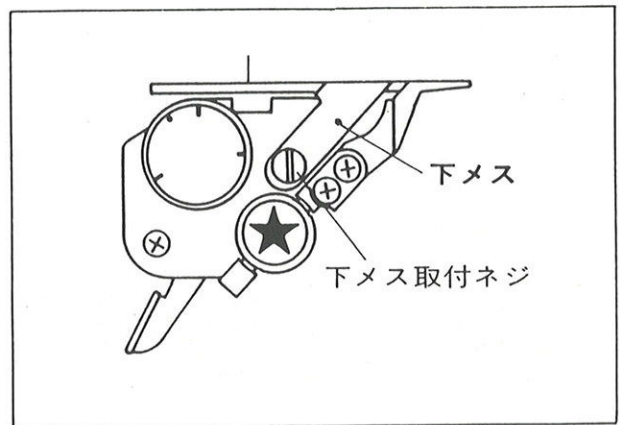


⑪ 下メスの交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業して下さい。

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常下メスを交換して下さい。

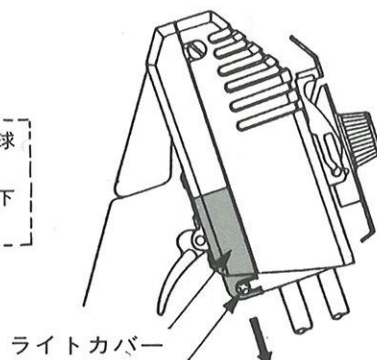
下メス取付ネジをゆるめて、下メスを取りはずす。新しい下メスを差し込み、下メスの刃先が針板の上面と同じ高さになるようにして下メス取付ネジを締め付けます。



⑫ 照明ライトの交換

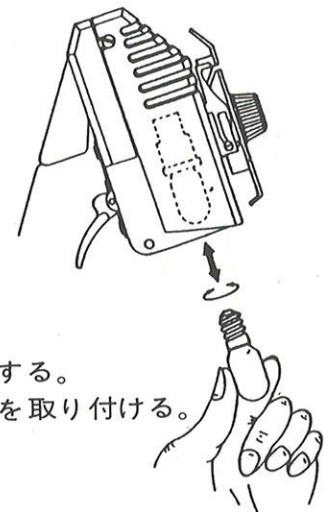
※必ず照明ライトスイッチを「OFF」にしてから作業して下さい。

ライトは、100V 15Wのミシン球です。
ライトは、ミシン店でお求め下さい。



- ①ライトカバー止ネジをゆるめる

- ②ライトカバーを外す



布地に対する糸調子の目安位置

このミシンの糸調子は、ほとんどの生地が「標準値4を中心とした緑の範囲」で縫えるように調整しています。しかし、特殊な生地など若干の調節を必要とする場合もあります。下記の表は、代表的な生地に対する糸調子器の目安となる数値を示しました。いろいろな条件により、必ずしもこの数値通りになるとは限りませんが、一つの目安としてご活用ください。[]は「標準値4を中心とした緑の範囲(3~5)」

■ 2本針4本糸ロック

布地の種類		糸調子器の目盛			
		左針糸(朱)	右針糸(黄)	上ルーパー(緑)	下ルーパー(青)
薄地	ジョーゼット	2			
	薄手ジャージ				
	ブロード				
普通地	綿ギャバジン				
	ウール				
	サージ				
厚地	厚手フラノ				
	毛糸編地				
	デニム				

縫い条件：糸 スパン#90、送り目2.5mm(標準値)、かがり幅 5.7~7.5mm(標準値)、使用針 DC×1F #11

■ 1本針3本糸ロック

布地の種類		糸調子器の目盛		
		針糸(黄)	上ルーパー(緑)	下ルーパー(青)
薄地	ジョーゼット			
	薄手ジャージ			
	ブロード			
普通地	綿ギャバジン			
	ウール			
	サージ			
厚地	厚手フラノ			
	毛糸編地			
	デニム			

縫い条件：右針を使用、糸 スパン#90、送り目 2.5mm(標準値)、かがり幅 3.5~5.3mm(標準値)、使用針 DC×1F #11

■ 巻きロック

布地の種類		糸調子器の目盛		
		針糸(黄)	上ルーパー(緑)	下ルーパー(青)
薄地	ジョーゼット			6.5
	薄手ジャージ			6.5
	ブロード			6.5
普通地	トリコット			6
	ストレッチ			6.5

縫い条件：右針を使用、糸 右針糸および下ルーパー糸はスパン#90/上ルーパー糸はウーリーナイロン(ベビーネット使用)、送り目 2.5mm(標準値)、かがり幅M、使用針 DC×1F #11

■ 1本針2本糸ロック

布地の種類		糸調子器の目盛		
		左針糸(朱)	右針糸(黄)	下ルーパー(青)
	ブロード	—	2	1.5
	デニム	—	2	1.5
	デニム(飾り縫い)	1	—	2.5

縫い条件：糸スパン#90、送り目 2.5mm(標準値)、かがり幅 4.0mm、使用針 DC×1F #11 但し、飾り縫いはルーパー糸にテトロン#30(ベビーネット使用)、かがり幅 7.5mm

⑬ 梱包明細

1. ミシン

2. コントローラー

3. ご使用のてびき

4. 保証書

5. アクセサリー

● 巻きロックキャップ

※ ● 針(DC×1F)

● 下メス

● 木駒受

● ベビーネット

※ ● ピンセット

● マイナスドライバー(大)

※ ● マイナスドライバー(小)

※ ● 掃除用ブラシ

● バルキー押え金

● ビニールカバー

※は本体の下側面カバー内に納っております。

⑭ 仕様

(仕様の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。)

かがり巾

2本針4本糸ロック……………5.7~7.5mm

1本針3本糸・2本糸ロック………3.5~7.5mm

巻きロック……………1.5mm

縫い目(送り目)

1~4mm

あこ~でおん比率

0.7~2.0(伸ばし・縮みの比率)

メス上下量

6.5mm

押え上り量

5mm

送り歯高さ

0.7mm(標準)

使用針

DC×1F(#11、#14)

使用糸本数

4本、3本、2本

照明ライト

100V 15W

ミシンの重さ

6.5kg(モーター付完成品)

メ モ

- お買上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください)
- アフターサービスについてのお問い合わせは、お買上げの販売店へご連絡ください。

株式会社 **ジューキ**

本社/〒102 東京都中央区八重洲2-7-2
(八重洲三井ビル) TEL 03(3272)2851

札幌011(737)6821 仙台022(239)3705 郡山0249(25)4100 新潟0250(43)4451 東京03(3265)8741 名古屋052(962)7631
大阪 06(768)3651 倉敷 086(473)0355 広島082(227)5781 福岡0942(44)7921